

令和 6 年度

みなかみ町教育委員会点検・評価報告書

(令和 5 年度事業対象)

令和 7 年 1 月

みなかみ町教育委員会

目 次

1. 点検・評価の概要	1
2. みなかみ町の教育行政方針	5
3. 教育委員会会議、教育長・教育委員の活動状況	17
4. 教育委員会各事業	
学校教育課	31
生涯学習課	45
5. 学識経験者の意見等	65

1. 点検・評価の概要

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

これに基づき、みなかみ町教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすことを目的として、同法の規定に基づいて実施した点検と評価の結果をまとめました。

この報告書は、教育委員会の活動について年度内の重要な施策事業について点検と評価を行うものであります。

みなかみ町教育委員会は点検と評価の実施を通じて、施策の効果的な実施と改善を図り、教育施策の着実な推進に努めたいと考えますので、皆さんの一層のご理解とご協力お願い申し上げます。

令和7年1月

みなかみ町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

【教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等】

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

対象事業は令和5年度事業とし、学校教育課、生涯学習課におけるそれぞれの重点項目事業とします。

3 点検評価の実施方法

教育委員会が行う事業の取組状況が施策と成果の報告書にまとめられています。この報告書を基とし、また教育委員会会議や教育委員の活動状況も含めた成果を、教育に関し学識経験を有する外部の皆さんに評価していただきました。

4 外部評価者

学校教育課関係 元社会教育委員 (元古馬牧小学校長)	矢 嶋 丈 久
生涯学習課関係 元社会教育委員 (元桃野小学校長)	高 橋 芳 夫

敬称略

2. みなかみ町の教育行政方針

たくましく生きる心豊かな人々が暮らすまち

豊かな心と文化を育む

《基本理念》

みなかみ町教育委員会は、生涯学習の観点に立ち、幼児・児童・生徒並びに町民一人ひとりが夢や誇りを持つとともに、学校教育や社会教育・文化・スポーツなどを通じ、地域の貴重な歴史的・文化的資源などを活かして豊かな感性を育み、高い知性・健康な身体を培う、たくましく生きる心豊かな人々が暮らす持続可能な町を目指して教育行政を推進する。

《基本方針》

みなかみ町教育委員会は、基本理念の具体的実現を図るため、次の基本方針に沿って諸施策の推進に努める。

I 学校教育 ……たくましく「生きる力」を育む教育

1 学校教育の充実

「郷土みなかみを愛し、思いやりを持って、たくましく生きる児童・生徒の育成」を目指し、教育水準の向上に努める。
「断えず考える」を生活の指針とする。

2 教育環境の整備

学校教育の充実のため、小学校の統合を視野に入れた学校施設・設備や人的環境等の計画的な整備に努める。

II 生涯学習・文化・スポーツの振興 ……豊かなライフ・ステージ

1 生涯学習の充実

生きる喜びに満ち、心の豊かさと学ぶ意欲に溢れた生涯学習社会を目指し、生涯学習推進体制の整備・充実に努める。

2 スポーツ活動の充実

町民の生きがいと健康増進のため、みなかみ町スポーツ推進計画に基づき、軽スポーツの普及や地域に根ざしたスポーツ、競技スポーツの振興を図るとともに、施設・設備の整備に努める。

3 文化振興と文化財の保存と活用

町民の文化に関する意識を高めるため、誰もが楽しめる地域の文化活動を推進するとともに、関係機関と連携した文化財の保存と活用に努める。

《主な施策》 ※下線は今年度の重点

I たくましく「生きる力」を育む教育

1 学校教育の充実

(1) 学校経営の充実

① 特色ある学校づくり (カリキュラム・マネジメント)

ア 校長の経営ビジョンの明確化とリーダーシップ

- ・組織体制（態勢）の強化と人材育成

イ 課題を明確にした、適切な教育課程の編成・実施・評価・改善

- ・子ども、学校、地域の実態の適切な把握
- ・教科等横断的な視点からの組立（STEAM 教育の視点を踏まえて）

ウ 地域に根ざした多様な教育活動の展開

- ・ユネスコエコパークに関わる様々な教育活動の展開
- ・地域資源の教育的活用（人・物・自然、ユネスコスクールの視点等）
- ・家庭・地域との連携の強化（コミュニティ・スクールの推進等）
- ・学校支援センターの充実

エ 「断えず考える」の精神を生かした教育の実践

- ・探究的活動、主体的に考え粘り強く取り組むこと 等

② 教職員の心身の健康管理

ア 温かい職場づくり（互いに学び合い・支え合い、組織で取り組む）

イ 労働安全衛生管理体制の充実

ウ 教職員の業務改善・意識改革につながる取組の推進（勤務時間外勤務縮減の工夫）

③ こ・小・中連携教育の推進

ア 小・中学校間、こども園・小学校間の円滑な接続（学習指導、生徒指導等）

- ・行事、授業、体験活動等を活用した異校種間の幼児・児童・生徒の交流
- ・小学校高学年の教科担任制
- ・中学校教員の小学校への兼務による連携
- ・教員の異校種間交流の推進
- ・推進委員会の再編・充実
- ・架け橋プログラムの実施に向けた具体的な連携（相互参観、カリキュラムづくり等）
- ・小・中学校9年間を見通した教育課程の連携（英語、総合的な学習の時間、キャリア教育、ICT活用等）

④ 学校評価システムを活用した、組織的で、計画的・継続的な経営改善

(2) 学力の向上

① 学習指導の充実

ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現

- ・培う力を明確にした探究型授業（課題意識、個の追究、学び合い、まとめと振り返り）の徹底

- ・的確な学習状況の把握と個に応じたきめ細かな指導（指導と評価の一体化）の充実

- ・ICTを効果的に活用した学習活動・家庭学習の充実（一人一台端末等の着実

な活用促進)

イ 組織的な取組の充実

- ・学力向上計画の徹底、特配と学力向上コーディネーターの有効活用
- ・意図的・計画的な家庭学習の出題と確認の徹底
- ・学力検査等の結果分析と改善策を生かした授業の実施
- ・学習支援ソフトの効果的な活用方法の研究
- ・読み書き計算の徹底

ウ 英語教育・外国語活動の充実（英語力の向上）

- ・中学校教員の小学校への兼務による連携
- ・ALTの有効活用
- ・英語検定補助制度の活用

(3) 教職員の資質の向上

① 教職員研修の充実

ア 校内研修の内容及び方法の改善・充実

イ 各種教員研修の充実（初任研、経験者研修、へきセン等）

ウ 個人の研究課題による研修（自己研修）の充実

エ 一人一研究授業の実践及び「はばたく群馬の指導プランⅡ」等の活用

オ 三国会の研修の充実（小・中連携教育の推進・資質向上・異校種間交流）

カ I C Tに関する研修（情報モラル、情報リテラシー含む）

② 教職員の服務規律の確保（教育者としての使命と責任の自覚）

- ・服務規律行動計画の周知・徹底（チェック、研修等）

(4) 心豊かな児童・生徒の育成

① 道徳教育の充実

ア 「考え、議論する道徳」の充実

イ 体験活動、諸行事等との関連を意図した指導の充実

ウ 道徳教育推進教師を核にした組織的な取組（量的・質的確保）

エ 他者を思いやる心、郷土を愛する心、生命を尊重する心、自立心や自律性の育成

- ・あいさつの励行（おもてなしの心・明るい町）

- ・体験活動等を通したふるさと学習（ボランティア、みなかみ町の自然体験等）

- ・自殺予防（S O Sの出し方授業、受け止め体制等）

オ 情報モラル教育の推進

カ 家庭・地域との連携による徳性の涵養

② 生徒指導の充実

ア 生徒指導実践上の視点（自己存在感の感受、自己決定の場の提供、共感的な人間関係の育成、安全・安心な風土の醸成）の実行

イ 生徒指導の4層（困難課題対応、課題早期発見、課題未然防止教育、発達支持）各層の推進

ウ いじめ対策・不登校対策（未然防止・早期発見・早期対応）の充実

- ・誰もが居場所のある温かな学級・学校づくり（適切な言語環境 等）

- ・子どもや保護者の側からの視点を踏まえた組織的な対応

- ・子ども主体のいじめ防止活動等の充実

- ・小中が連携した活動の展開
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を活用した教育相談の充実
- ・教育支援センター（みらい）の充実
- ・家庭・地域・関係諸機関・団体等との連携

③ 安全教育の充実

- ア 3領域（生活安全、交通安全、災害安全）の指導の徹底
- イ 家庭、地域、関係機関（消防、警察、こども園、小学校、中学校等）との連携の充実

④ 人権教育の推進

- ア 多様化する人権課題への対応（インターネットによる人権侵害、性に関する課題等）
- イ 全教育活動を通じた人権尊重の精神の育成
 - ・人権啓発活動の推進（人権作文・人権ポスター等）
 - ・「いじめを出さない」日常の指導といじめ防止子ども会議等の充実
 - ・児童会・生徒会等、児童・生徒の主体的活躍の推進
- ウ 人権擁護委員等との連携

⑤ 福祉・環境教育の充実

- ア 全教育活動を通じた福祉・環境教育の充実
- イ 福祉・環境問題への具体的実践
 - ・あいさつ運動
 - ・ボランティア活動の推進（地域の花植え、老人ホーム慰問、ゴミゼロ運動等）
- ウ みなかみユネスコエコパークの推進（地域資源の教育的活用）
 - ・持続可能な開発のための教育（ESD）とユネスコスクール活動の推進
 - ・管内小・中学校のユネスコスクールへの登録加盟活動支援
 - ・谷川岳エコツーリズム、環境学習発表会、赤谷プロジェクト等の活用（SDGsの「15陸の豊かさを守ろう」の意識化）

⑥ 読書活動の推進

- ア 学校図書館の充実
 - ・貸出冊数や読書時間の増加及び学校図書館の環境整備
 - ・児童・生徒の図書委員会の活動
 - ・図書館司書教諭の積極的活用
 - ・学校司書の配置（みなかみ中学校）
- イ 家庭における読書のすすめ

(5) 健やかな体の育成

- ア 児童・生徒の体力の向上（運動の量と質の向上）
 - ・体力向上プランを活用した組織的な取組
 - ・教科体育、体育的行事の充実
 - ・朝活動や放課後時間等の活用の工夫
 - ・健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に関する指導の充実

- ・適正な運動部活動の実施
- ・外部指導者及び地域スポーツ団体等との連携（部活動指導員の活用と地域移行の検討）

イ 児童・生徒の心身の健康の保持増進

- ・基本的生活習慣の確立
- ・各種調査結果の効果的活用（肥満、虫歯、視力の低下等への対策）
- ・健康診断の実施と事後指導の充実
- ・心臓健診対象学年に小学4年生を追加
- ・食育による正しい知識と望ましい食習慣の推進
家庭と連携した「お弁当の日」の活用
学校給食における地産地消の推進
- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底（感染予防と心のケア等）

(6) キャリア教育（進路指導）の充実

ア 地域や小・中学校の実態を踏まえたキャリア教育の年間計画の作成と実践

- ・地元企業等を活用した職場体験、体験入学等の啓発的体験的活動の充実
- ・地域の人材資源等の活用

イ 特別活動の学級活動を要とした、学校の教育活動全体を通じた指導

- ・「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点を踏まえた、自主的・実践的活動の充実

ウ キャリア・パスポートの活用

エ 進路相談の計画的な実施

オ 中学生海外派遣事業の充実

カ 中学生議会の活用

(7) 特別支援教育の充実

ア 乳幼児から成人期までの支援システムの実践

- ・町教育支援委員会の充実（専門家チームの活用）
- ・「個別の教育支援計画」を活用した関係機関との連携
- ・支援員等の適切な配置・活用

イ 教職員の専門性の向上と指導の改善

- ・講師を招聘しての研修と職員の共通理解
- ・通常学級における指導の改善
- ・交流及び共同学習の充実
- ・特別支援学級及び通級指導教室の指導の改善
- ・特別支援教育ソフト活用による指導の改善

ウ こども園・小・中学校間の交流と連携の強化

エ 子育て健康課など地域関連機関との連携推進

(8) 幼児教育の充実

ア 適切な教育課程の編成・実施・評価・改善

- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえた、環境の構成と援助

イ 「思いやりのある子」を育てる教育の充実

ウ 保育教諭等の資質の向上

- ・園内研修の充実
- ・研修会への参加
- エ こども園・小学校との連携
 - ・特別支援教育の充実
 - ・小1プロブレムの解消
 - ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの連携
 - ・相互参観の推進
- オ 町教育支援委員会との連携

2 教育環境の整備

(1) 環境整備

ア 安全・安心の確保

- ・教育施設・設備等の安全確保
- ・スクールバスの安全運行・通学路の安全確保（交通安全、不審者・鳥獣対策）
- ・校内生活での安全・安心の確保
- ・食の安全確保…食物アレルギーへの対応
- ・地域との連携（安心安全・育成協議会「見守り隊」や「110番の家」の活用）

イ 防犯、防災など安全対策の充実

- ・災害対応マニュアルに基づいた体制整備・研修の充実（台風、地震、大雪、大雨等）
- ・自らの命は自らが守る教育（危険予測・危険回避能力の育成）の推進
- ・学校・家庭・地域が連携した防災教育の推進
- ・避難所施設としての初動体制の整備及び関係機関との連携強化

(2) 国際理解・交流学习の推進（人間関係力・自己有用感の育成）

- ・中学生海外派遣事業の実施
- ・小学生奄美市笠利町との青少年交流事業への参加
- ・文化芸術による子供の育成事業への参加（劇団「風」との交流）
- ・小学校間の合同学習、リモート交流の計画的実施

(3) 教職員等の人的環境整備

ア ALTの適切な配置（小・中学校での英語教育の充実）

イ 特別支援教育に係る補助教員兼支援員・介助員等の適切な配置

(4) 小学校の統合の推進・大規模改修等の検討

ア 月夜野地区小学校の統合推進

イ 藤原小学校の施設整備の検討

II 豊かなライフ・ステージ

1 生涯学習の充実

(1) 生涯学習体制の整備・充実

① 「心豊かな町民」を目指す生涯学習の推進

ア 生涯学習推進のための各種企画の創意工夫

- ・講座、講習、現地研修、文化祭、講演会、映画上映会、諸大会等

イ 学習成果発表の場の提供

・文化祭、生涯学習フェスティバル、合唱祭、報告会、優秀選手表彰式等

- ② 生涯学習関連施設の活用
 - ア 町公民館、図書室、カルチャーセンター（指定管理）、歴史民俗資料館等
 - イ スポーツ関連施設（社会体育、学校体育）等
- ③ 生涯学習指導者の育成・確保
 - ア 指導者、学習ボランティア、コーディネーター、シニアリーダーの活用
- ④ 地域学校協働活動の推進
 - ア 学校ごとに地域学校協働本部を整備
 - イ 学校運営協議会と地域学校協働本部の連携を支援
 - ウ 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を支援
 - エ 放課後子ども教室の実施
- ⑤ 生涯学習に関する諸情報の提供 生涯学習だより等
- ⑥ 新しい生活様式を取り入れた施設の利用、イベントの実施
- ⑦ 社会教育関係団体の育成・連携
 - ア 子ども会育成会、婦人会、PTA 連合、青少推、スポーツ少年団、スポーツ協会、文化協会等
- ⑧ 人権教育の充実（町民福祉課・子育て健康課との連携）
 - ア 人権学習 正しい認識形成と啓発
 - ・社会教育委員の研修
 - ・家庭教育学級での学習会
 - ・人権擁護委員会との連携・協同活動
 - イ 人権啓発活動
 - ・人権ポスターの募集・表彰
 - ・講演会（町民福祉課と連携）

(2) 学習機会の提供

- ① 生涯学習講座・教室等の開催
 - ア 受講生拡大の工夫
 - イ 各種団体による講演会や講座の支援
 - ウ 自主グループ育成への支援と助言
- ② 4 図書室の充実
 - ア 図書の充実
 - ・町民のニーズに応じた新刊図書の購入
 - イ 読書推進活動
 - ・みなかみ町子ども読書活動推進計画（第2次）に基づく事業の推進
 - ・読書量、利用者増大への工夫…読書通帳の活用、お話し会の活動支援
 - ウ 広報活動
 - エ 全町図書室運営の充実
 - ・図書室環境の改善・整備
 - ・ネットワークの構築、管理の一元化（データベースの作成等）
 - ・図書システムの導入（新治公民館図書室）
 - ・新治公民館図書室への職員を配置等、他室と同等の条件整備
- ③ 公民館施設の充実
 - ア 中央公民館

- イ 水上公民館
- ウ 新治公民館

(3) 青少年教育の充実

① 青少年育成活動の充実

ア 青少年団体の育成

- ・子ども会育成団体連絡協議会、ガールスカウト、スポーツ少年団

イ 青少年育成推進員連絡協議会

- ・ あいさつ運動、安全パトロール、電車パトロール、啓発活動（ポスター、標語入りウエットティッシュの配布）

ウ 青少年関係事業の実施

- ・ おもしろ科学教室
- ・ 奄美市笠利町との青少年交流事業

(4) 家庭教育の充実

① 家庭教育関連事業の実施

- ・ 就学時子育て講座、思春期子育て講座

2 スポーツ活動の充実

(1) 指導体制の充実

① 指導体制の充実

ア スポーツ推進委員の有効活用

- ・ 全町民生涯スポーツ推進のための計画的活動

イ 地域スポーツ指導者の育成と確保

② スポーツ団体等の育成と指導者の養成

- ・ 指導者研修会の開催

③ スポーツ情報提供・相談体制の整備

④ スポーツ施設・設備の整備・充実…体育施設整備計画に基づき順次整備の実施

⑤ 部活動の地域移行等の中学校との連携

(2) みなかみ町スポーツ推進計画によるスポーツ活動の充実

① みなかみ町スポーツ推進計画（第2次）の推進 令和5年4月～

② 生涯スポーツ活動の振興

ア 地域スポーツの振興・組織の構築・活動支援の充実

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

ウ 軽スポーツの啓発・普及と活動

- ・ ウォーキング、モルック 等

③ 競技スポーツの振興

ア 優秀選手・指導者の表彰

イ 各種選手強化対策の推進

ウ 競技スポーツの指導者の育成

エ スポーツ協会の活動の充実

- ・ スポーツに関する講習会・研修会の開催
- ・ 各種競技大会・教室の開催
- ・ 各種スポーツ競技団体の結成及び育成

- ・スポーツ少年団の育成
- ・競技指導者及び審判員の養成

(3) 地元開催大会の支援

- ① 群馬県小学生総合体育大会への支援
 - ア スキー大会開催支援
- ② 2029群馬国民スポーツ大会への準備
 - ア ホッケー競技の普及（小学生ホッケー教室の実施）
 - イ 人工芝ホッケー場の計画的な整備
 - ウ 中央競技団体正規視察の受け入れ

3 文化振興と文化財の保存と活用

(1) 文化振興

- ① 文化施設の充実
 - ア カルチャーセンター（指定管理）等の整備と運営の充実
- ② 文化活動の促進
 - ア 文化協会・文化振興事業の支援
 - イ 文化活動に関する広報、啓発活動
 - ウ 後継者不足の課題解決への研究（文化団体の育成支援）
 - エ 若山牧水顕彰活動（若山牧水みなかみ紀行短歌大会）の支援

(2) 文化財の保存と活用

- ① 指定文化財の保存と活用の推進
- ② 未指定文化財の調査と公開
- ③ 文化財展示施設の整備と活用
 - ア 月夜野郷土歴史資料館
 - イ 猿ヶ京関所資料館
 - ウ 雲越家住宅資料館
 - エ 永井宿郷土館
 - オ 矢瀬遺跡、名胡桃城址、梨の木平敷石住居跡
- ④ 文化財の活用
 - ・小中学校の学習への利用促進
 - ・ガイドの会との連携
 - ・利根商生による名胡桃城のジオラマの作成、発表

3. 教育委員会会議、教育長・教育委員の 活動状況

1 教育委員会会議、教育長・教育委員の活動状況

●みなかみ町教育委員会名簿

令和5年4月1日 現在

職 名	氏 名	委員就任日	役職就任日	任 期
教 育 長	田村 義和		R 4.11.16	R 6. 3.31
教育長職務代理者	登坂 季子	R 2. 4. 1	R 5. 4. 1	R 6. 3.31
委 員	利根川太郎	R 3. 4. 1		R 7. 3.31
委 員	阿部 剛	R 4. 4. 1		R 8. 3.31
委 員	根津 公安	R 5. 4. 1		R 9. 3.31

●令和5年度教育委員会会議(定例会・臨時会)の開催状況

教育委員会の会議は原則6月、9月、11月、3月の年4回開催される定例会と、必要に応じ開催される臨時会があり、以下のとおり開催し審議されました。

(令和5年4月～令和6年3月まで)

開催日	区 分	議案・報告等
(令和5年) 5月31日 (第1回)	定例会	報告第1号 令和4年度みなかみ中学校体育館屋根・外壁改修工事 請負変更契約の専決処分報告について 報告第2号 令和4年度旧水上中学校プール建設工事請負変更契約 の専決処分報告について 報告第3号 区域外就学について 報告第4号 就学校の指定変更について 議案第1号 令和5年度水上小学校旧校舍他解体工事請負契約の締 結について 議案第2号 令和5年度水上小学校屋上防水改修工事請負契約の締 結について 議案第3号 みなかみ町地域遺産認定制度実施要綱について 議案第4号 みなかみ町奨学金の認定について 議案第5号 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定 について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和5年) 5月31日 (第1回)	定例会	(協 議) ①5月8日以降のコロナ対策等について ②指導主事訪問Aのご案内について ③奄美大島青少年交流事業の申込み状況等経過報告について ④令和5年度利根郡町村教育委員会連絡協議会及び沼田市教育委員会総会における各議案の表決結果について ⑤スクールバス冬季路線の検討について ⑥統合小学校関係進捗状況について
7月14日 (第2回)	臨時会	議案第6号 令和6年度使用教科用図書の採択について 議案第7号 みなかみ町立学校設置条例の一部を改正する条例について (協 議) ①令和5年度NRT結果分析と今後の学力向上対策について ②スクールバス冬季路線の協議について ③みなかみ町中学生海外派遣事業について ④桃野小学校プール開放について ⑤奄美大島青少年交流事業について
8月18日 (第3回)	定例会	報告第5号 就学校の指定変更について 議案第8号 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 議案第9号 就学校の指定変更について 議案第10号 令和5年度水上小学校旧校舎他解体工事請負変更契約の締結について 議案第11号 令和5年度みなかみ町一般会計予算9月補正予算(第3号)について (協 議) ①旧新治中学校活用関係について ②令和5年度みなかみ町「全国学力・学習状況調査」結果と考察について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和5年) 8月18日 (第3回)	定例会	③スクールバス冬季路線の協議について ④奄美大島青少年交流事業夏の交流の報告について ⑤マスのつかみ取り体験の報告について ⑥桃野小学校プール開放事業の経過報告について
11月28日 (第4回)	定例会	報告第6号 就学校の指定変更について 報告第7号 区域外就学について 報告第8号 みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 報告第9号 令和5年度末利根沼田地区教職員人事に関する基本方針について 議案第12号 令和5年度みなかみ町一般会計予算12月補正予算(第4号)について 議案第13号 指定学校変更申立について 議案第14号 みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する告示について 議案第15号 みなかみ町英語検定料補助金交付要綱の一部を改正する告示について 議案第16号 みなかみ町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について 議案第17号 指定管理者の指定について(みなかみ町カルチャーセンター) (協 議) ①藤原小学校教職員住宅の廃止について ②みなかみ町中学生校海外派遣事業について ③図書システム導入について ④二十歳の集いについて ⑤令和11年開催 国民スポーツ大会ホッケー競技の現地視察について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和6年) 2月27日 (第5回)	定例会	報告第10号 就学校の指定変更について 議案第17号 令和6年度みなかみ町教育行政方針（案）について 議案第18号 令和5年度みなかみ町一般会計予算3月補正予算（第6号）について 議案第19号 令和6年度みなかみ町一般会計予算（案）について 議案第20号 みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の認定について 議案第21号 指定学校変更申立について (協 議) ①旧新治中学校の財産処分承認申請について ②令和5年度町教職員退職者辞令交付式・退職者表彰式について ③令和6年度町教職員辞令交付式について ④小中学校・こども園の卒業（園）式・入学（園）式について ⑤みなかみ町中学生海外派遣事業の報告について ⑥令和5年度みなかみ町二十歳の集いについて ⑦奄美市青少年交流事業の報告について ⑧学校部活動指導員の地域移行について
3月19日 (第6回)	臨時会	報告第11号 みなかみ町教育委員会教育長職務代理者の指名について 議案第22号 令和5年度末教職員人事異動について 議案第23号 学校給食費の決定について (協 議) ①第7回若山牧水みなかみ紀行短歌大会について

(令和5年4月～令和6年3月)

区 分	回 数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙回数	教育長事務報告
定例会	4	20	25	10		4
臨時会	2	4	6	1		

●令和5年度総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正(平成27年4月1日施行)に伴い、町長と教育委員が構成員となり、相互の十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有するため総合教育会議が設置されました。

総合教育会議において、町長は教育委員と協議して、教育に関する総合的な施策の大綱を策定するとともに、教育に関する重点的な施策について協議することとなっています。

令和5年度には以下のとおり開催され、協議を行いました。

開催日	案 件 等
令和6年3月19日	1. 部活動の地域移行について 2. 中学生海外派遣事業について

●教育長・教育委員の活動

教育委員会は、定例会以外に各種研修会及び教育委員会主催の行事に参加しています。
また、各小中学校へも学校訪問をして教育環境の整備や体制づくりに努めています。

(令和5年4月～令和6年3月まで)

期 日		行 事 予 定
4月 3日	月	町職員辞令交付式 課長会議 教育委員辞令交付 教職員辞令交付式 転入者挨拶・教育長年度初め挨拶
5日	水	グラウンドゴルフ協会定期総会
7日	金	小学校入学式 教育委員・昼食 みなかみ中学校入学式
10日	月	にいはるこども園入園式
12日	水	原澤 SC 辞令交付 管内校長会 三国会運営委員会
13日	木	管内教頭会
14日	金	教育長・園長・校長等合同研究協議会 へき地教育センター入所式、 理事会
17日	月	サロモン藤原湖マラソン実行委員会 法務局支局長 来庁
18日	火	総務文教厚生常任委員会 川口市教育委員会 来庁 青少推総会
20日	木	月夜野布施郵便局長等来庁
21日	金	第1回教育委員会訪問(学校教育課) 武井SC辞令交付 板坂SC辞令交付 議員懇談会
24日	月	議会全員協議会
25日	火	婦人会総会 スポーツ協会総会
26日	水	三国会総会 (仮称)月夜野統合小学校準備委員会
27日	木	町GB協会春期GB大会 4月臨時会
28日	金	令和4年度利根沼田地区人事総括会議
5月 2日	月	管内校長会
9日	火	課長会議 スポーツ推進委員会議
10日	水	管内教頭会
11日	木	子育連総会
15日	月	月夜野北小A訪問 県市町村教育長協議会第1回定例会・県市町村教 育長人事会議 利根郡スポーツ協会総会(欠) (月)統合小学校建設意見交換会
17日	水	町民グランドゴルフ大会
19日	金	町GB協会町長杯争奪大会 中学校バスケットユニフォーム貸与式
23日	火	古馬牧小A訪問 人事評価会議
24日	水	事務所長ヒアリング 町民生委員児童委員協議会総会 社会教育委員 会議
26日	金	みなかみ中学校視察来町 文化協会総会 スポーツ協会総合開会式
27日	土	利根沼田幼小中PTA研修会
29日	月	第1回教育長会議 利根郡スポーツ進委員連協理事会・総会

期 日		行 事 予 定
5月30日	火	教科書採択協議会 放課後子供教室運営委員会
31日	水	みなかみ中A訪問 第1回教育委員会
6月 1日	木	課長会議
2日	金	藤原小A訪問 前橋气象台長 来庁
4日	日	第 52 回関東高等学校ホッケー大 会開会式
5日	月	一ノ倉沢あるけあるけ大会(欠)
6日	火	教育委員会訪問(生涯学習)(欠)
9日	金	新治小A訪問(欠) 議会全員協議会(欠)
11日	日	管内校長会・学校運営部会
12日	月	利根商・みなかみ中吹奏楽部コンサート(欠)
13日	火	6月議会定例会本会議・一般質問(3人)
14日	水	6月議会定例会一般質問(4人)・議会全員協議会
15日	木	総務文教厚生常任委員会 桃野小学校A訪問
18日	日	管内教頭会
19日	月	みなかみ町ガールスカウト入団式・総会
20日	火	水上小A訪問
21日	水	6月議会定例会本会議
22日	木	(株)グリフ 津久井氏 来庁
26日	月	令和5年度第2回教育長会議
27日	火	海外中学生派遣事業推進委員会
28日	水	新高校意見交換会打合せ(県高校教育課来庁) 給食試食会
29日	木	カルチャーセンター運営委員会
7月 4日	火	利根郡へき地検討センター計画検討会 月夜野統合小学校準備委員会
5日	水	群馬県へき地教育振興会総会
6日	木	課長会議 奄美青少年交流事業説明会
7日	金	給食センター運営委員会 管内校長会・学校運営部会
10日	月	統合小学校 第2回学校運営部会
11日	火	事務所等ヒアリング 指導措置
12日	水	沼田利根地区新高校開設準備に関する意見交換会
13日	木	群馬県町村教育長研修会
14日	金	赤谷プロジェクト意見交換会 片野歯科 片野先生 来庁
18日	火	教科書採択協議会 第1回特別支援委員会(欠)
20日	木	県市町村教育長人事会議 管内教頭会(欠)
21日	金	2023 原水爆禁止国民平和大行進 麻布大学 小玉教授 来庁
24日	月	ICT 活用促進委員会
		第2回教育委員会
		第3回教育長会議
		弘済会 都丸氏 来庁
		内田病院 庭野氏 来庁
		ライオンズクラブ会長 来庁

期 日		行 事 予 定
7月26日	水	利根郡小学校水泳記録会
27日	木	サロモン藤原湖マラソン実行委員会
28日	金	第2回教育支援委員会 2023 年非核平和行進
8月 1日	火	課長会議
2日	火	青少年赤十字利根沼田地区連絡協議会
4日	金	真庭久氏 叙位伝達
7日	月	大淵進氏 高齢者叙勲伝達 総務文教厚生常任委員会
8日	火	議会全員協議会
17日	木	二十歳の集い第1回実行委員会
18日	金	教育委員会
19日	土	第2回みなかみカップミニバスケットボール大会 第 45 回少年の主張利根沼田地区大会
20日	日	藤原湖マラソン
22日	火	本多和恵氏 来庁
23日	水	公立学校職員選考試験(2次選考)面接委員
28日	月	奄美青少年交流事業事前説明会
29日	火	議会全員協議会
30日	水	公立学校職員選考試験(2次選考)面接委員
31日	木	校長会・学校運営部会
9月 1日	金	課長会議
2日	土	おいで祭り
3日	日	3x3 EXE PREMIER 2023 Round.9 in 高崎
5日	火	高橋香奈世 委嘱状交付
6日	水	9月議会定例会本会議・一般質問(3人)
7日	木	議会全員協議会 令和6年度採用校長・教頭選考ヒアリング
8日	金	決算連合審査 利根郡地域婦人団体連合会指導者研修会(欠)
9日	土	みなかみ中学校体育祭
10日	日	みなかみ町俳句短歌大会
11日	月	町 GB 協会秋季ゲートボール大会(欠) 総務文教厚生常任委員会
12日	火	第 50 回福祉パレード 管内教頭会
14日	木	第1回地区人事会議 郡連協教育長会・北毛第2地区教科用図書協議会関係教育長会議
15日	金	9月議会本会議
16日	土	新治小学校運動会
18日	月	第 37 回愛のチャリティ芸能大会
19日	火	町村教育長会第2回理事会
20日	水	「B&G海ごみゼロウィーク」ごみ拾い 給食センター打合せ 利根沼田地区学校警察連絡協議会第2回役員会
21日	木	奄美青少年交流事業出発式 「ふるさとみなかみいただきます」給食試食会

期 日		行 事 予 定
9月22日	金	人権ポスター審査会
23日	土	茂左衛門地蔵尊秋季大祭
26日	火	町秋季グランドゴルフ大会
27日	水	前橋聾学校 岡田明子校長来庁
28日	木	第2回利根沼田地区人事会議
30日	土	つきよのこども園運動会 生涯学習フェスティバル
10月 2日	月	年度末教職員人事教育長・校長合同協議会
3日	火	課長会議 管内校長会・学校運営部会
5日	木	第17回郡市合同小学校陸上記録会
10日	火	管内教頭会
11日	水	利根郡へきセン授業実践(片品中)
12日	木	第33回町長杯争奪戦ゲートボール大会
13日	金	月夜野北小B訪問
14日	土	古馬牧小学校運動会
18日	水	B&G財団防災倉庫落成式
20日	金	高橋芳夫氏来庁 戦没者追悼式
21日	土	防火ポスターコンクール表彰式 三宅村交流会
22日	日	若山牧水顕彰全国大会第1回歌碑祭
23日	月	ユネスコエコパークポスターコンクール審査 県民スポーツ大会利根郡選手団結団式
24日	火	議会全員協議会 指導措置
25日	水	小・中学校合同引渡訓練 利根郡へきセン授業実践(川場中) 中学生海外派遣事業説明会
26日	木	月夜野小学校準備委員会
27日	金	新治小学校B訪問
31日	火	利根郡へきセン授業実践(みなかみ中)
11月 1日	水	管内校長会
3日	金	文化祭
5日	日	中学生人権作文コンテスト表彰式
7日	火	課長会議 にいはるこども園A訪問
8日	水	B&G教育長会議
9日	木	管内教頭会
10日	金	総務文教厚生常任委員会 第6回中学生議会 藤原小学校B訪問(欠)
12日	日	県民スポーツ大会応援
13日	月	教育委員会施策事業点検評価会議 小中学校教育研究会授業研究会(桃野小、水上小)
14日	火	市町村教育委員会全体研修会
15日	水	教育委員会事前人事ヒアリング
16日	木	県市町村教育長会議 県市町村教育長人事会議
17日	金	群馬県小学校道徳教育研究大会(古馬牧小)

期 日		行 事 予 定
11月20日	月	国スポ中央競技団体視察対応
21日	火	第1回教育事務所人事ヒアリング
22日	水	明るい社会づくりの会 森下氏来庁 特別支援教育推進事業研修会兼三国会特別支援教育部研修会
23日	木	第65回利根沼田青少年柔剣道大会
25日	土	父の日作文表彰式
27日	月	議会全員協議会 みなかみ中学校B訪問
28日	火	教育委員会定例会
29日	水	校長会・学校運営部会 利根郡へき地教育センター中間検討会
12月 4日	月	課長会議
5日	火	12月議会定例会本会議・一般質問(3人)
6日	水	9月議会定例会一般質問(2人) 議会全員協議会
7日	木	総務文教厚生常任委員会
8日	金	地区人権教育研究協議会(古馬牧小)
9日	土	町子育連上毛かるた大会
11日	月	教育事務所ヒアリング
12日	火	管内教頭会
13日	水	9月議会定例会本会議 第5回教育支援委員会(全体会)
14日	木	中学生海外派遣事業壮行会
16日	土	第51回利根郡子ども会上毛かるた大会
24日	日	中学生海外派遣出発式
28日	木	仕事納め式 中学生海外派遣事業出迎え
1月 4日	木	仕事始めの会 課長会議
5日	金	第3回利根沼田地区人事会議
7日	日	町消防出初め式 二十歳の集い
10日	水	管内校長会
11日	木	第2回人事ヒアリング 教育論文・実践記録審査会
12日	金	町新年賀詞交歓会
13日	土	町ゲートボール協会定期総会
15日	月	グリフ 津久井氏 来庁
16日	火	管内教頭会
17日	水	第4回利根沼田地区人事会議
18日	木	群馬県町村教育委員会教育長・教育委員合同研修会
19日	金	婦人会昼食会・町長と語る会
22日	月	ピース・オブ・ケイク意見交換会
23日	火	能登半島地震被災地派遣職員激励 第16回B&Gサミット
24日	水	へきセン班研究反省会・理事会
25日	木	県市町村教育長人事会議
26日	金	スポーツ協会新年会
30日	火	いじめ防止子ども会議

期 日		行 事 予 定
2月 2日	金	三国会運営委員会 管内校長会 学校運営部会
3日	土	環境学習発表会
5日	月	課長会議
6日	火	議会全員協議会
7日	水	管内教頭会
9日	金	2月議会臨時議会本会議 第3回県市町村教育長協議会(web 会議) 学警連優良児童生徒表彰式 奄美市青少年交流事業(冬交流)歓迎式
10日	土	クレインサンダーズ試合観戦
13日	火	奄美市青少年交流事業(冬交流)お別れ式
14日	水	総務文教厚生常任委員会 ヘキセン 研究発表会・修了式・論文等表彰
15日	木	第5回利根沼田地区人事会議
16日	金	指導措置
19日	月	管理職人事面談
20日	火	教育委員会訪問
21日	水	第6回利根沼田地区人事会議
22日	金	能登半島地震被災地派遣職員激励
25日	日	林 辰男 杯 町小中学生スキー大会(中止)
27日	火	カルチャーセンター運営委員会 第5回教育委員会定例会
28日	水	議会全員協議会
29日	木	第2回学校給食センター運営委員会 第7回利根沼田地区人事会議
3月 1日	金	管内校長会
2日	土	県スポーツ少年団スキー交流大会(クロカン)
3日	日	若山牧水みなかみ紀行短歌大会
4日	月	課長会議 新治スキークラブ訪問
5日	火	3月議会定例会 本会議・一般質問(2人)
6日	水	3月議会定例会 一般質問(4人) 議会全員協議会
7日	木	令和6年度予算連合審査 管内教頭会
8日	金	総務文教厚生常任委員会
11日	月	令和5年度末人事教育長・委員代表合同会議 利根郡町村教育委員会連絡協議会定例会
12日	火	議会全員協議会
13日	水	みなかみ中学校卒業式
14日	木	3月議会定例会 本会議
15日	金	部活動地域移行協議会
19日	火	総合教育会議 教育委員会臨時会 課長会議(欠) 月夜野小学校準備委員会
20日	水	茂左衛門地蔵尊春季大祭 茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会
21日	木	教職員異動内示 管内校長面談
22日	金	つきよのこども園卒園式 ピース・オブ・ケイク施設見学
23日	土	わかくりこども園卒園式

期 日		行 事 予 定
3月25日	月	新治小学校卒業式
28日	木	サロモン藤原湖マラソン大会実行委員会
29日	金	異動該当者(派遣・実務研修者)辞令交付 形式退職者辞令交付式
		研修命令書交付 令和5年度末教職員退職予定者辞令交付式

4. 教育委員会各事業

学校教育課

施策マネジメントシート(2023年度の振り返り、総括)

作成日 2024 年 6 月 24 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち
施策	18	学校教育の充実
主管課	名称 課長 担当係	学校教育課 吉田 武春 学校教育係、教育環境対策室教育環境対策係
関係課		

目的と基本方針	児童生徒が豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つ ・少子化の動向を踏まえ、学校の適正規模を考慮した配置を進めるとともに、地域に根ざした特色ある教育を推進します。 ・学力や体力の向上を図るとともに、不登校や問題行動、特別な支援を必要とする子どもたちへの取り組みを強化します。
---------	--

基本事業の考え方	・「教員の指導力向上」 指導力向上のための教員への指導を充実させる必要がある。そのために学校訪問の回数の確保を図る。教員を指導する立場である「指導主事」の町職員としての採用を継続する。 ・「教育指導への支援」 学力・体力向上に取り組む学校に対し、不登校や特別に支援を必要とする児童生徒への対応を中心とした補助教員兼支援員(マイタウンティーチャー)及び適応指導教室専任指導員の採用を継続する。ICT活用環境を充実させる。 ・「教育環境の整備」 少子化の動向を踏まえた学校経営や学習指導の充実を図るため、月夜野地区小学校統合を推進し、藤原小学校のあり方も含め計画的に環境整備を進める。適切な教育環境のもとで教育が受けられるよう、既存施設の修繕等も含めた環境整備を進める。
----------	--

基本事業名	対象	意図	取り組み方針
1 教員の指導力向上	児童生徒	学力向上、体力向上及び豊かな心の育成につなげる。	指導主事の採用により、学校訪問を計画的に実施し、教員の指導力向上を図ります。また、指導力向上のための研修会等を計画します。
2 教育指導への支援	児童生徒	学力及び体力向上、不登校児童生徒の減少につなげる。	補助教員兼支援員(マイタウンティーチャー)を採用します。不登校傾向にある児童生徒への対応のため、教育支援センターを設置します。
3 教育環境の整備	児童生徒	適切な教育環境で教育が受けられる。	既存施設の修繕等、教育環境の整備を行い、学校経営、学習指導の充実を図ります。月夜野地区小学校統合を行い、藤原小学校のあり方も含め計画的に環境整備を進めます。また、遊休化している(となる)校舎・校庭・体育館等の整理を進めます。
4			

1. 施策の現状	2. 施策の課題
・学力テストの結果は、目標を下回っています。(全国平均とほぼ同じ) ・体力テストの結果は中学生の数値が大きく低下しています。新型コロナウイルス感染症による部活動の制約が長く続いたためと推測できますが、特に男子の低下が著しくなっています。 ・ICT環境の整備(1人1台端末導入など)を早急に進め、通信環境の整備もほぼ完了しています。 ・不登校児童生徒の出現率※注1)は、年々増加傾向です。(全国、県平均とほぼ同じに推移) ・令和4年4月、4校がひとつになり「みなかみ中学校」が開校しました。 ・みなかみ中学校への通学のため、スクールバス路線に新たな路線が追加されています。	・GIGAスクール構想を推進していくため、学習支援ソフトの導入などICT関連機器等を有効活用していく必要があります。 ・学力向上にむけた学校訪問の日数を確保していく必要があります。 ・小中学校統合推進計画に基づいた、月夜野地区小学校の適正規模・適正配置を進めることが必要です。 ・各学校の老朽化した施設を、適切に整備していく必要があります。 ・教員の働き方改革を進めていくために、休日部活動の段階的な地域移行が必要です。 ・不登校児童生徒が増加傾向にあるため、専門的な指導を継続していく必要があります。 ・地域の見守り隊をはじめとする関係機関と連携し、通学路の安全を確保していく必要があります。
3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
・少子化により児童・生徒が更に減少することが見込まれ、それに伴い小学校では集団学習や集団活動の実施に制約が生じてきており、学校再編が必要不可欠である。 ・不登校児童生徒、特別に支援を必要とする児童生徒の割合が年々増加している。 ・2020年度に小学校3・4年生は外国語活動、小学校5・6年生では英語が教科化され、時間の確保や指導体制の継続的確保が必要である。 ・校舎等の老朽化により、修繕、大規模改造等が必要である。 ・地球温暖化による異常気象(高温・集中豪雨)や通学時等の予測不能な事件・事故が多発している。 ・GIGAスクール構想に基づく、ICT機器を活用した授業展開が進む。 ・部活動改革(部活動指導員や休日部活動の段階的な地域移行の推進)の全国展開(2023年度～)の取り組みが進む。	・不登校の児童生徒数は、子ども達の減少とは対照的に増加傾向にあり、早期対応等の取り組みが求められている。 ・特別支援教育の対象児童生徒は増加しており、意見や要望は多岐にわたっているため、きめ細かな対応が必要とされている。 ・登下校の安全確保、点検、見守りの強化等が求められている。 ・GIGAスクール構想に基づく、1人1台端末などハード面の整備とともに、端末を活用した授業内容の充実や家庭学習への活用などのソフト面の整備について、議会の一般質問などで取り上げられている。 ・月夜野地区小学校の統合推進が議会等から求められている。

1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
<家庭・保護者> ・家庭では子どもたちの心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎を作る。 ・保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。 <地域住民> ・「地域の子どもは地域で育てる」という意識を持ち、子どもたちが安心して活動できる地域づくりを進める。 ・地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。	・教育の基本方針を策定する。 ・児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。 ・教員の資質の向上を図る。 ・小中学校統合推進計画に基づき、月夜野地区小学校の統合を推進する。 ・ユネスコエコパーク登録により、本町の自然や文化などを多くの魅力を見つめ直し、持続可能な開発のための教育の学習を図るため、管内小中学校のユネスコスクールへの登録加盟・活動を支援する。

施策	18	学校教育の充実	主管課	名称 学校教育課 課長 吉田 武春
----	----	---------	-----	----------------------

成果指標名	単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
A 学力テストの結果(児童/生徒)	ポイント	実績値	51.2/50.9	50.2/50.8	50.5/50.5				
		目標値			51.0/52.0	51.0/52.0	51.0/52.0	51.0/52.0	51.0/52.0
B 体力テストの結果(児童/生徒)	点	実績値	57.8/44.8	59.9/45.0	56.3/44.4				
		目標値		54.0/47.5	54.0/47.5	54.0/47.5	55.0/48.0	55.0/48.0	55.0/48.0
C 不登校児童生徒の出現率	%	実績値	2.6	2.5	3.3				
		目標値		1.0	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
D		実績値							
		目標値							

成果指標の達成状況	A	未達成	成果指標増減の要因	A	令和4年度と比較して児童は、0.3ポイント増加しているが目標値を0.5ポイント下回っている。生徒は0.3ポイント減少し、目標値も1.5ポイント下回る結果となった。指導主事による学校訪問や補助教員兼支援員の支援により小学校では学習成果を上げていた学年が多かった。中学校では、不登校生徒の増加や生徒指導等で費やす時間が多くなっていることが学力向上に影響していると推測される。
	B	未達成		B	児童は、目標に比べ2.3点上回っているが、生徒は目標と比較して3.1点下回っている。その要因は中学生男子の成績が全国平均を下回っていることと考えられる。中学生男子の肥満割合が増えていることや、授業や部活動以外の運動時間の減少、ゲームやテレビ等メディア時間の増加などが原因と考えられる。(全国平均 児童:53.4 生徒:44.3)
	C	未達成		C	目標の2.6%に対して0.7ポイント高くなっている。児童・生徒数総人数が減少しているが、特に小6と中1の不登校者数が増加。要因については、1人ひとりケースが違いため、一概には言えないが、無気力、家庭環境による影響、学業の不振等様々な要因が考えられる。
	D			D	

基本事業名	指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1 教員の指導力向上	A 学校訪問の回数	回(延べ)	実績値	20	14	18				
			目標値			18	18	18	14	14
2 教育指導への支援	A 補助教員兼支援員の数(マイタウンティーチャー)	人	実績値	7	9	9				
			目標値			9	9	9	9	9
3 教育環境の整備	A 小中学校数	校	実績値	9	7	7				
			目標値			7	7	7	5	5
4	A		実績値							
	B		実績値							
			目標値							

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	授業改善等をして学力向上を図るため指導主事による学校訪問A、B及び三国会の部会訪問等を実施している。	学校訪問A、Bの要望が各校から(7校×2回)14回ある。また社会教育主事訪問の同行2回、三国会の部会訪問2回(うち1回は訪問Bを兼ねる)、小学校ケース会議1回の合計18回だった。	指導主事1人で対応しているため、他の業務も多く左記の訪問以外なかなか指導に行けない。ICTを活用した授業等の指導方法が確立していない。	指導主事を中心とした学校訪問の回数を維持する。ICT活用促進委員会を設立し、アンケートを実施、教材等の見直しを進めている。
	2	1人1人に対しきめ細やかな指導ができるよう、補助教員兼支援員の人材の確保に努めている。	目標値の9人を確保したが、一部の補助教員兼支援員は、週5日から週4日に条件設定を変え確保した。	教員免許を生かし学習指導もお願いしているが、業務に対しての報酬が低いことが業務意欲と人材確保に影響している。	配慮を要する児童生徒の支援や学習指導にあたり、正規教員を補助して学力向上の取り組みを補助している。報酬面の改善を検討していきたい。新たな視点を持って、人材確保の方法を検討する。
	3	準備委員会を立ち上げ、総務・地域関連部会と学校運営部会を設置し、校章・校歌の募集要項の決定まで進められた。新校舎については、実施設計が完了した。	令和4年度に統合してみなみ中学校を開校し、7校になった。	月夜野小学校の校章、校歌の決定。新校舎建設について、令和8年4月開校を目指し計画的に実施する。	月夜野地区の3小学校の統合に向け、準備委員会等により継続して検討を進める。新校舎建設に向け、新校舎建設地の造成工事・建設工事の実施。

18.学校教育の充実

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	校務支援システム導入・運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,587,379 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	学校事務等にかかる校務のシステム化を図る事業。統合型校務支援システムの導入により、教員の事務負担の軽減等によって教育の充実を図る。	事業実績	
	基本事業	01	教員の指導力向上	利根郡学校関係IoT共同化推進協議会で検討し、現システムを2年間延長することとした。	利根郡共同利用による統合型校務支援システムを利用する学校数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	学校教育	課	学校教育	係	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
					7	7
					校	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	小中学校教育研究会(三国会)事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	290,675 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	館内の常勤の教職員を持って組織し、みなかみ町の教育の振興を図るため、研究、調査、講習等に関わる事業を行う。	事業実績	
	基本事業	01	教員の指導力向上	町内水泳大会が郡内水泳大会へ変更、スキー大会が町スキー協会へ移管した。	学校数(小・中)	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	学校教育	課	学校教育	係	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
					7	7
					校	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	教育委員会運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	900,102 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	管内小中学校のAB訪問等に出席いただき、授業の様子や学校の状況の把握に努めている。各視研修会や会議に出席し、地域住民との意見交換を行った。	事業実績	
	基本事業	02	教育指導への支援	教育委員会・教育委員会協議会・総合教育会議開催回数	令和 4年度	令和 5年度
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	単位	
組織名	学校教育	課	学校教育	係	10/6/1	6/0/1
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	1
						回

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	事務局一般管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,809,843 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	教育委員会事務局業務を遂行するために必要な経費について、的確に管理し、円滑に業務が行われるようする。	事業実績	
	基本事業	02	教育指導への支援	決算額	令和 4年度	令和 5年度
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	単位	
組織名	学校教育	課	学校教育	係	2,890	2,810
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
					千円	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000013		教職員労働安全衛生管理事業			① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		11,847 円				
施策体系	施策	18	学校教育の充実			長時間労働者に対する医師の面接指導と、全教職員を対象としたストレスチェックの実施。		毎月、教職員時間外勤務状況を把握し、医師の面接体制を整備したが利用の実績なし。ストレスチェック事業の受検者は昨年度より減り117人が受検した。		事業実績							
	基本事業	02	教育指導への支援							面接指導／ストレスチェックの受検者数							
組織名		学校教育		課	学校教育			②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和 4年度			令和 5年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2	根本的な問題である教職員の多忙化を解消できるよう、業務の削減や見直しを行うことが必要である。						
											学校に対して多忙化解消のために取り組んでいる先進地の事例などを調査し、情報を提供できるように検討する。 毎月、在校等時間記録表を提出してもらい勤務時間の把握を行う。						
											0/120		0/117		人		

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		(令和 4 年 月 日更新)																		
事務事業		000006		外国語指導助手(ALT)事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		26,318,829 円								
施策体系	施策		18		学校教育の充実		児童生徒が外国語や異文化を理解し、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになることを目的に、5名のALTを配置し、チームティーチングによる英語指導を行う。		令和8年度に月夜野地区の小学校が統合することを踏まえ、今後はALT4名体制にしたいことを決めた。		事業実績									
	基本事業		02		教育指導への支援		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		小学校兼務校平均訪問回数、小学校配置校平均訪問回数、みなかみ中平均勤務日数・ALT人数									
組織名			学校教育 課			学校教育 係			本事業に係る経費が大きく、また、生活サポート等の事務量が多いことが課題である。			JET－ALTを継続するか、委託契約等別の方法を選択するか検討が必要。			令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		1 目		2		72、123、209・5		75、114、217・5		回・人		

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		令和 6 年 6 月 21 日更新																							
事務事業		000005		教育補助員事業		① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		1,271,881 円							
施策 体系	施策		18		学校教育の充実		支援が必要な児童生徒に対し、町費負担の補助教員・介助員を配置する。					各学校より提出された要望書により聞き取り調査を行い、必要と判断した学校へ配置を行った。					事業実績								
	基本事業		02		教育指導への支援												補助教員数／介助員数／部活動指導員								
								②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策												
組織名		学校教育		課		学校教育		係		各学校の状況を的確に把握し、充実した支援ができるよう継続的に配置していく必要がある。					今後も継続的に必要学校数を把握し、配置を行う。					令和 4年度		令和 5年度		単位	
																				9/4/3		9/4/4		人	
事業 期間		継続事業		会計		1 款		10 項		1 目		2													

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		(令和 6 年 6 月 21 日更新)										
事務事業		000011	尾瀬ネイチャーラーニング事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	650,640 円		
施策体系	施策	18	学校教育の充実		児童生徒が尾瀬での自然体験学習・事前学習を行い、質の高い環境教育を提供する。事業費(バスの借り上げや現地ガイド料)について県補助金の申請を行い、支払業務を行う。		なし。		事業実績			
	基本事業	02	教育指導への支援									
						②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		参加学校数		
組織名		学校教育 課		学校教育 係		小学生か中学生の間に必ず1回実施することになっているので、統合に向け、実施時期の調整が必要となる。		継続。		令和 4年度	令和 5年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1 款	10 項					1 目	2	5

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	課外活動費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,361,351 円
施策	18	学校教育の充実	小中学校における課外活動を対象にバス賃借料など移動費等の補助を行う	要綱制定を行うため、情報収集を継続して行っている。6年度中に制定を行いたい。	事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	補助件数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	令和6年度中に要綱を制定する必要がある。また、全国大会等の上位大会がどこで開催されるかによって、経費が大きく膨らむことがある。	管内の小中学校に周知を継続していく。	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2			10	14
					単位	件

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	学校経営研究・研修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	839,342 円
施策	18	学校教育の充実	群馬県小学校長会・群馬県中学校長会・群馬県公立学校教頭会等の市町村負担金		事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	学校数(小／中)	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	課題なし		令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2			6／1	6／1
					単位	校

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	学校教育研究・研修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	341,709 円
施策	18	学校教育の充実	群馬県小中学校学校教育研究会、利根郡へき地教育センター、利根郡小中学校教育研究会等の市町村負担金		事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	学校数(小／中)	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	課題なし		令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2			6／1	6／1
					単位	校

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000010	総合的な学習の時間支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	236,180 円
施策	18	学校教育の充実	総合的な学習の時間等において、外部講師を依頼した際にかかる保険、及び谷川岳エコツーリズム登山実施に伴う補助を行う。	課題なし。	事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	児童数・生徒数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	他の事業と合わせて、教員の指導力向上を図ることにより、外部講師の有効活用にもつなげる必要がある。	課題なし。	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2			602・329	592・316
					単位	人

18.学校教育の充実

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000014	教育支援推進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,492,216 円
施策	18	学校教育の充実	幼児・児童・生徒の就学に係る相談や助言、支援を行う。 また、特別支援教育の充実を図るため、調査や研究、講演会など開催する。	乳幼児期については保健師と、その後は、こども園、小中学校と連携し、早期より支援の必要な児童生徒を把握し、必要な時に必要な支援を行う。	事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援			教育支援委員会審議対象者数 (新就学児童/就学児童生徒)	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	少子化に反して、支援を必要とする幼児や児童生徒は年々増加しており、支援を行える人材を育成して行く必要に迫られている。	関係機関とより親密な連携を図り、支援を必要とする児童生徒の援助を行う。	21/102	20 /94
					単位	0

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000009	中学生海外派遣事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	8,796,519 円
施策	18	学校教育の充実	本町の中学生を対象に海外の異文化を体験させることで、国際的視野の拡大、国際観舞・国際理解を深めると共に、自分たちの住むみなみ町について再確認する機会を与える。	派遣行程の見直しを行い、前回より派遣者への負担が軽減できる行程にした。また、事前学習会にオンラインによるマンツーマンの英語レッスンを取り入れ、英語によるコミュニケーション力の向上を目指した。	事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援			派遣事業参加生徒	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	期間限定事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	①事前学習会の内容の充実を図る。 ②派遣行程の充実を図る。 ③派遣者数の適正化を図る。	事業目的に沿って、派遣行程、派遣者数の継続的な見直しが必要。	0	33
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000016	地域学校保健委員会事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	61,321 円
施策	18	学校教育の充実	児童生徒の体と心がバランスよく成長していくために、学校と家庭、地域の役割と連携の在り方を探る。そのため、各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設置する。	委員会を廃止しても他の機会で役割を代替できるとともに、各委員や教職員の出張を減らし、業務改善に資することができると考えたため、委員会を廃止。	事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援			児童数・生徒数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設けていたが、これまでの委員会で行っていた連絡、情報交換、データの共有等については、県面で行うことも可能である。これらのことから、委員会を廃止しても他の機会で役割を代替できるとともに、各委員や教職員の出張を減らし、業務改善に資することができると考えたため、委員会を廃止を検討。	各学校保健委員会活動計画書、活動報告書を格納したものを作成し関係機関へ配布。また、児童生徒の健康に関するデータ等の共有を自前にて行うこと、学校保健に関する情報交換や各事業の説明や調整等は、校長会や養護教諭情報交換会等を活用すること、歯科衛生士による歯科保健指導や健康課題に関する講演会を行うことを継続。事業は児童生徒等健康保持増進事業に統合。	602・329	592・316
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000015	要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,581,014 円
施策	18	学校教育の充実	経済的な理由によって就学が困難な児童生徒について、学用品費・給食費など学校にかかる費用の一部を援助する。	特になし	事業実績	
基本事業	02	教育指導への支援			受給者数(小学校/中学校)	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 2 目 1	特になし	特になし	41/12	40/13
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	特別支援学級就学援助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,193,000 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する。	事業実績	
	基本事業	02	教育指導への支援	なし	受給者数(小学校/中学校)	
組織名	学校教育	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	課題なし	継続	20/7	27/10
		1	10		単位	人
		1	2			
		1	1			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000012	高等学校総務費負担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,200 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	定時制教育への市町村負担金。	事業実績	
	基本事業	02	教育指導への支援	なし	沼田高校定時制生徒数	
組織名	学校教育	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	課題なし	なし	5	5
		1	10		単位	人
		1	4			
		1	1			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000017	(完了廃止)家庭教育支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	55,000 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	小学校に入学する前の就学時健診時と中学校に入学する前の移行学級を活用し、保護者を対象に「子育て講座」を実施し、子育てを行う保護者へ子育てに関する啓発を促す。	事業実績	
	基本事業	02	教育指導への支援	各小学校で子どもの就学時健診を待つ間、子育て講座を行った。中学校での思春期子育て講座も実施予定。	講座開催数	
組織名	生涯学習	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	小中学校入学前の子どもを持つ保護者のニーズに応えた講師の選定が課題である。	参加者や学校側のニーズの調査を引き続き行う。	6	6
		1	10		単位	回
		1	5			
		1	1			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000016	利根沼田学校組合地方交付税交付事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	417,220,000 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	利根沼田学校組合理事会の協議書により、地方交付税(普通交付税高等学校費及び特別交付税高等学校寄宿舎分等)を一括算入し、負担金として支出する。	事業実績	
	基本事業	03	教育環境の整備	—	普通交付税交付額 特別交付税交付額	
組織名	財政	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	課題なし	—	375,977・ 43,881	371,042・ 46,178
		1	10		千円	
		1	4			
		1	1			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		令和 6 年 6 月 21 日更新																							
事務事業		000018		GIGAスクール構想推進事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		22,446,571 円							
施策体系	施策	18		学校教育の充実				国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末等を整備し、ICT技術を活用した授業展開をはかるとともに、個別最適化され、創造性を育む学びを実現する。				ドリルソフトやフィルタリングソフトの変更と授業支援ソフトの新規導入を行った。				事業実績									
	基本事業	03		教育環境の整備												1人1台端末を活用する児童生徒数									
組織名		学校教育 課		学校教育 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 4年度		令和 5年度		単位					
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2	タブレット端末の有効活用				今後デジタル教科書や教材等を最大限に活用していくためのネットワーク状況の確認。				908		908		人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和6年6月21日作成		令和6年6月21日更新																	
事務事業		000010		学校検診事業		① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果 令和5年度学校医に学校医の職務内容説明、検診未受診者については、担任と連携をとり保護者へ受診依頼をしたり、他の学校で受診できるよう財団に連絡をした。検診器具は学校の検診器具を業者へ送付し、滅菌を委託する準備を行った。				事業費		4,127,826 円			
施策体系	施策		18		学校教育の充実									学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身の健康保持増進を図る。					
	基本事業		03		教育環境の整備		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策 学校と学校医、学校と保護者で連携をとり検診ができるよう依頼する。検診未受診者対策は今まで通り。検診器具滅菌は、業者へ委託し安心・安全な器具を用いて検診を実施、委託教諭の業務改善を図る。				令和4年度			令和5年度		単位	
組織名		学校教育課		学校教育係		児童生徒について、令和4年度末学校医2名解任の申し出あり、令和5年度新たに2名委嘱。検診未受診者が多くなっている。検診器具の滅菌に問題あり。							令和4年度		令和5年度		単位		
事業期間		継続事業		会計						1 款		10 項		1 目		2		919・35	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		(令和 6 年 6 月 21 日更新)																						
事務事業		000001		英語検定料補助事業		① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		218,200 円						
施策 体系	施策		18		学校教育の充実					実用英語技能検定の検定料を補助することで、 児童生徒の英語力及び英語学習意欲の向上を 図る。					課題なし					事業実績				
	基本事業		03		教育環境の整備															補助金申請者数・昇級受験者数				
									②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策										
組織名		学校教育 課		学校教育 係					課題なし					—					令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業 期間		継続事業		会計		1 款		10 項											1 目		2		124・8	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		令和 6 年 6 月 21 日作成		令和 6 年 6 月 21 日作成		令和 6 年 6 月 21 日作成		令和 6 年 6 月 21 日作成						
事務事業		000012		スクールバス管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		88,567,474 円		
施策体系	施策	18		学校教育の充実		主にみなかみ町の小中学校の児童・生徒の通学に利用するバスの運転業務を効果的に運営する。		要望を受けて、教育委員会と現地の確認を行うとともに、教育委員会やスクールバス運営委員会と協議を重ねた。水上地区の根室等の地味事情を考慮し、児童の安心安全のため通学を補助することを決定し、谷川地区と鹿野沢地区の冬期間(12月～3月)におけるバス利用について、スクールバスを1路線増便を行った。		事業実績				
	基本事業	03		教育環境の整備						バス利用者数				
組織名		学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和 4年度			令和 5年度	単位
事業期間		継続事業		会計	1 款	10 項	1 目	2	スクールバス運行業務における効果的な運営のため、提案型プロポーザルを実施し、業者を決定する。		335		335	人
受託者の業務精度の向上及び同業他社との競争を取り入れる。また担当職員の指導の厳格化と業務効率の新たな手段等の可能性の追求をしていく。水上小学校の移転に伴い、谷川区長、鹿野沢育成会、谷川育成会、湯原育成会、水上小学校学校運営協議会より「冬季における谷川地区児童に対するスクールバス利用について」の要望書等が提出される。また町長との意見交換会においても要望が出された。														

18.学校教育の充実

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	通学支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	473,110 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	遠距離通学する児童・生徒の保護者へ通学費補助及び小学校入学時の防犯ブザーや熊鈴などの支援など	事業実績	
	基本事業	03	教育環境の整備	小学校準備委員会等において継続して協議をしている。	遠距離通学児童・生徒数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	学校教育	課	学校教育	係	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項
			1	目	2	
			小学校統合によるスクールバス利用への移行時の補助金交付要綱見直し。	統合小学校の開校までに決定する。	1・4	1・3
					人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000013	スクールバス整備事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,739,873 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	主にみなかみ町の小中学校の児童・生徒の通学に利用するバスの車両を整備し、児童・生徒の安心安全な通学を補助する。	事業実績	
	基本事業	03	教育環境の整備	14人乗り1台を新規で購入し、児童生徒の安心安全な通学の確保に繋がった。	更新台数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	学校教育	課	学校教育	係	単位	
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	10	項
			1	目	2	
			車両状況および登録年数等を考慮し、毎年度計画的に更新する必要がある。	車両状況および登録年数等を考慮し、予算に応じて更新を実施する。	0	1
					台	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	小中学校施設等維持管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	14,749,754 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	学校では対応が出来ない請書・契約書が必要となる高額の修繕などの維持管理	事業実績	
	基本事業	03	教育環境の整備	児童生徒に危険が及びそうなものを優先に最低限の修繕を行った。	学校施設修繕等件数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	学校教育	課	学校教育	係	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項
			1	目	2	
			小学校統合を見据え、必要最小限の修繕を行う。	軽微な修繕は直営等で対応する。	13	19
					件	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	藤原小学校教職員住宅管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	357,573 円
施策体系	施策	18	学校教育の充実	へき地の学校に赴任する教職員の通勤負担を解消するため、入居希望教職員の入退去の管理及び住宅施設の維持管理を行う。	事業実績	
	基本事業	03	教育環境の整備	施設が休止状態となったため、施設内に残っていた不要品を撤去した。	入居者数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	学校教育	課	学校教育	係	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項
			1	目	2	
			施設を修繕して使用可能な状態にするには、多額の費用が掛かる。	教職員住宅の老朽化により、入居希望者を募ることができないため、廃止を検討したい。	0	0
					人	

18.学校教育の充実

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000009		児童生徒災害共済保険事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		841,540 円			
施策体系	施策	18		学校教育の充実				学校の管理下における児童生徒等の災害共済給付を行う。	-		事業実績						
	基本事業	03		教育環境の整備							給付件数(小学生/中学生)						
								②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策							
組織名		学校教育		課		学校教育				係							
										課題なし							
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	2	目	1			令和 4年度		令和 5年度		単位
												34 / 35		39 / 44		件	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 6 年度)																							
事務事業		000014		利根沼田学校組合運営費負担事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,960,100 円					
施策体系	施策		18		学校教育の充実				利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費負担金				なし				事業実績						
	基本事業		03		教育環境の整備												みなかみ町在学生生徒数						
組織名			学校教育 課			学校教育 係			②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 4年度		令和 5年度		単位		
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		4 目		1		課題なし				なし					
																		158		171		人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		(令和 6 年 6 月 21 日更新)																													
事務事業		000005		月夜野給食センター管理運営事業		① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		162,188,428 円													
施策体系	施策		18		学校教育の充実					小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。					3年計画の2年目として空調設備の改修工事を一部行った。					事業実績											
	基本事業		03		教育環境の整備															1日あたり調理食数											
											②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策															
組織名		学校教育		課		学校教育					係					調理機器の老朽化に伴い故障・修理が増えている。(平成16年移設稼働)					厨房設備及び建築設備の点検を定期的に行い、給食の提供に支障がないようにする。					令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		7												目		1		930	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		(令和 6 年 6 月 21 日更新)															
事務事業		000006		新治給食センター管理運営事業		① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		94,378,477 円	
施策 体系	施策	18		学校教育の充実		小学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。				厨房機器の状況把握を行い、使用頻度・劣化状況に応じて計画的に改善を行った。学校給食衛生衛生管理基準に従った温度管理等の徹底を図ってきた。				事業実績			
	基本事業	03		教育環境の整備													
						②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				1日あたり調理食数			
組織名		学校教育 課		学校教育 係		調理機器・施設の老朽化(平成15年施設稼働時より使用している調理機器や施設設備が耐用年数を超え、故障修理が増えている。)製造を中止している機器があり部品調達が不能となり、機器の更新の検討が必要である。				厨房設備及び建築設備の点検を定期的に行い、十分な給食が提供できるよう維持管理計画を作成する。				令和 4年度		令和 5年度	単位
事業期間		継続事業												228		232	

18.学校教育の充実

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	小学校管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	67,505,468 円
施策体系	施策	18	学校教育を充実させるための学校管理事業。	学校から予算ヒアリングを行い、他校との公平性(教育環境の平等)を確保しつつ、経費削減を行った。	事業実績	
	基本事業	03			児童数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	学校教育 課	小・中学校事務 係	児童数の減少、施設の老朽化を考慮しながら、他校との予算の公平性の確保。	学校統合を見据えながら、引き続き適正な予算措置が必要。	単位	
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 2 目 2			602	592

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成										令和 6 年 6 月 21 日印刷									
事務事業		000004		中学校管理運営事業		① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		20,793,562 円			
施策体系		施策		18		学校教育を充実させるための学校管理事業。				学校から予算ヒアリングを行い、小学校との公平性(教育環境の平等)を確保しつつ、経費削減を行った。				事業実績					
		基本事業		03										教育環境の整備				生徒数	
						②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
組織名		学校教育 課		小・中学校事務 係		生徒数の減少を考慮しながら、小学校との予算の公平性の確保。				引き続き適正な予算措置が必要。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		継続事業		会計 1 款 10 項 3 目 2										329		316		人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成																					
事務事業		000017		小中学校統合推進事業			① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		963,354,083 円				
施策体系	施策	18		学校教育の充実			小中学校統合推進計画に基づき、統合に伴う施設整備を行う。老朽化が進行している水上小学校の施設については、小学校が旧水上中学校施設に移転したため旧校舎の除却を行う。月夜野小学校については、現在3校ある小学校を統合し、挑野小学校敷地を拡充し新設するため、施設整備を行う。□				水上小学校は旧水上中学校校舎へ移転し、併せて旧水上小学校施設の除却を行った。月夜野小学校は、準備委員会を立上げ、学校運営に向けた協定を始めた。また校舎建設に向け実施設計を行い、用地買収を実施した。				事業実績						
	基本事業	03		教育環境の整備																	
							②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				改修等を行った施設数						
組織名		学校教育 課			教育環境対策 係			水上小学校校舎は築40年超経過し、老朽化が進行しているため、築年数の浅い旧水上中学校へ早期に移転する必要がある。月夜野地区3校の小学校校舎については、開校に向け計画的に準備を進めていく必要がある。				月夜野小学校について、関係機関の諸手続きを終えて、事業実施に向け、建物工事(1工区)の着工のため、造成工事をはじめ準備を進める。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		期間限定事業			会計 1 款 10 項 1 目 2											3		10		施設	

生涯學習課

施策マネジメントシート(2023年度の振り返り、総括)

作成日 2024 年 6 月 21 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち						
施策	19	生涯学習の推進	主管課	名称	生涯学習課		関係課	
				課長	丸山 浩文			
				担当係	生涯学習係、施設管理係			
								

目的と基本方針	町民が生涯を通じて自主的に学習する
	・様々な媒体から学習情報等を積極的に発信し、学びの楽しさや必要性を啓発することで、住民の学習意欲の向上を目指します。 ・講座やイベント等の参加者の要望を把握し、ニーズに合った学習機会を提供します。また、文化協会をはじめとする自主学習グループの活動を支援します。 ・学びの拠点施設となる公民館やカルチャーセンターの整備や機能の充実を図り、住民が生涯にわたって学習活動を行う環境整備に努めます。

基本事業の考え方	・住民の興味関心を把握し、学びのきっかけとなる取り組みやすい学習機会情報を提供する。また、その方法としてインターネット等の活用を図る。 ・生涯学習施設の計画的な整備や管理運営を行い、安全で利用しやすい環境の提供に努める。 ・生涯学習を行う団体や個人の支援を行う。 ・感染症対策に配慮した、公民館講座の開設。 ・指定管理者との連絡協議を強化し、自主事業の振興、利用者の利便性の向上に努める。
----------	--

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 学習意欲の高揚	町民	生涯学習への意欲や関心が高まる。	学習情報等を積極的に発信し、学びの楽しさや必要性を啓発し、住民の学習意欲の高揚を図ります。生涯学習フェスティバルや講座等のさらなる充実を図ります。
	2 学習機会の充実	町民	学びの機会を得られる。	多様な学習ニーズを捉えた講座や教室を企画・開催します。地域で眠る人材に指導者として活躍できる場を提供する等、地域に根ざした学びの事業展開に努めます。施設整備により環境面からの学習機会創出に努めます。
	3			
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状	2. 施策の課題
	・生涯学習の拠点となる公民館施設は、老朽化が進んでおり、住民のニーズにあった施設運営ができない状況にあります。 ・令和6年度の稼働に向けて導入を進めている図書システムについて、効率的かつ有効な利用方法とそれに伴う体制づくりを検討しています。 ・人口減少に加え、コロナ禍による集団活動の抑制があり、文化協会加盟団体や各地区の育成会などの活動が制限されています。また、再開のための新しい生活様式による活動の検討が進まない影響で、存続自体が難しくなり、既に解散したり町民団体への加盟を諦めている団体もあります。 ・生涯学習のきっかけとなる公民館講座の開設が、コロナ禍の影響で困難になっています。 ・カルチャーセンターは、コロナ禍で一般利用は激減していますが、指定管理者が感染対策を講じたうえで、イベント開催を徐々に増やしています。	・当面の間は新型コロナウイルス感染症等の影響を避けられないため、感染対策を考慮した上での生涯学習の推進方法を検討する必要があります。 ・会議室の改装やエレベーターの設置により、利便性が向上した中央公民館の更なる活用方法の検討が必要です。 ・公民館施設は、住民のニーズにあった管理運営を検討していく必要があります。 ・令和6年度までに町内全図書室の資料検索や予約などが可能になるため、利便性向上のためのルールや体制作りなどが必要です。 ・高齢化や人口減少に伴う既存団体の解散などが予想されます。 ・子どもが少なくなり、今まで行われていた集団的な育成会活動等が実施しにくい状況にあり、活動の機会が失われつつあります。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する?	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	・公民館施設は老朽化が進み、町の施策が決定していない方面のバリアフリー化や感染予防対策が遅れている。 ・文化協会関係団体は会員の高齢化と新規入会者の減少で活動が衰退している。 ・町民の学びに対する要求は、学校教育的なものから趣味・文化・スポーツ的なものまで、多様化している。また、コロナ禍で集団的な学びを警戒する傾向にあり、感染症などにも対応した学習方法や学習機会の提供が求められている。	・地域差のない生涯学習施設の整備(バリアフリー・トイレ洋式化・修繕等)が望まれている。 ・図書室資料の充実と利便性の向上。 ・支所公民館や遊休施設の有効活用。 ・既存不適格施設の改善が望まれている。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	・自己啓発につながる取り組みに積極的に関わり、生きがいとなるような活動を行う。 ・学ぶことの楽しさを広め、仲間作りを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、後進の育成に努める。	・住民の興味関心を把握し、学びのきっかけとなる取り組みやすい学習機会情報を提供する。その方法としてインターネット等の活用を図る。 ・生涯学習施設の計画的な整備や管理運営を行い、安全で利用しやすい環境の提供に努める。 ・生涯学習を行う団体や個人の支援を行う。

施策	19	生涯学習の推進	主管課	名称 生涯学習課 課長 丸山 浩文
----	----	---------	-----	----------------------

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	公民館等利用者数 ※対象は町民 ※カルチャーセンター含む※行政利用を除く	人	実績値	7,914	11,622	9,312				
				目標値		19,600	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	B	心の豊かさや自他の向上のために講座などに参加したり自分で学習したりしている人の割合	%	実績値	-	30.4	27.2				
				目標値		-	33.0	36.0	39.0	42.0	45.0
	C			実績値							
				目標値							
D				実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	未達成
	B	未達成
	C	
	D	

成果指標増減の要因	A	コロナ禍の影響もあるが、公民館等の利用団体の構成員(文化協会等)の高齢化が原因と思われる。また、稼働率は回復してきているが、利用者数が減少している。
	B	コロナ禍の影響を受け、意欲はあるが取り組んでいない割合が39.2%あり、自身の活動に結びついていないと推測される。
	C	
	D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	学習意欲の高揚	A 生涯学習フェスティバル参加者数/動画視聴数	人	実績値	0	49	640/0				
					目標値		500	300/300	350/350	400/400	450/450	500/500
			B		実績値							
					目標値							
	2	学習機会の充実	A 生涯学習講座・教室等の開設数	回	実績値	2	4	5				
					目標値		13	4	4	4	5	6
			B		実績値							
					目標値							
3			A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							
4			A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

基本事業取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	生涯学習フェスティバルはコロナ禍で中止していたが、令和4年度に再開した。5年度はチアの発表やスコープ三味線等、社会教育委員からの提案を受け実施した。	令和4年度は参加者を限定した開催だった。今年度は一般参加を再開し目標を達成することができたが、動画の撮影をしなかったため、視聴数が0になってしまった。	イベントが発表の場だけでなく、住民自らが学習に取り組むきっかけになっていく必要がある。	社会教育委員を中心に、マンネリ化しないよう生涯学習のきっかけ作りとなる企画を検討する。
	2	文化協会役員を中心に、生涯学習事業実行委員会を立ち上げて講座に参画してもらった。	実行委員会の提案により、2講座開催することができた。	多様なニーズに応えるためには、専門的な知識を持った人員が必要である。	外部人材の登用を検討し、生涯学習事業実行委員会の充実を図る。
	3				
	4				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	社会教育委員事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	329,980 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	町の社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。	事業実績	
	基本事業	01	学習意欲の高揚		会議回数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	社会教育委員個人々の意識が高く積極的に活動が出来ているが、コロナ禍で会議が積極的に組めない状況がある。	新しい生活様式に対応した社会教育事業を進める。	4	5
					単位	回

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	婦人会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	810,000 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献することを目的に活動する婦人会の支援を行う。	事業実績	
	基本事業	02	学習機会の充実		会員数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	仕事をしている会員が多く、婦人会活動ができないので会をやめてしまう人が増えている。また、新規入会者も少ないため、高齢化も進んでいる。また、会員減少に伴い、役員が回せない状況が発生している。	5月にコロナの取り扱いが5類になったが、コロナ感染症の不安はすぐには取り除けない状況があるため、引き続き全会員が安心して参加できるように計画をたてていく。	91	82
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	利根沼田文化会館運営費負担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	44,543,000 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	なし	事業実績	
	基本事業	02	学習機会の充実		施設利用者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	課題なし	なし	34,601	42,814
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	文化振興事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,391,912 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	前年度までコロナ禍のため開催をとりやめていた文化祭および生涯学習フェスティバルは、令和5年度から通常開催に戻した。	事業実績	
	基本事業	02	学習機会の充実		交付件数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	様々な社会教育団体があるが、自己資金がない団体や人材不足により各種事務作業が困難な団体等があり、実際の団体自立は難しい。また、コロナ禍が続き、発表の機会が減少している。	コロナ以降、町民の文化事業参加への積極性が低下しているが、各団体・実行委員会の事務局として生涯学習課が積極的に関わり事業復活・継続をしていきたい。	2	1
					単位	件

19.生涯学習の推進

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	おもしろ科学教室事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	11,000 円
施策体系	施策	19 生涯学習の推進	子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。	令和5年度は、コロナ対策をしながら1回開催した。	事業実績	
	基本事業	02 学習機会の充実			実施回数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	特に問題なく良い活動ができていますので、引き続きこの状態を維持していきたい。	今後も年1回は実施する。	1	1
					単位	回

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	二十歳の集い事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	710,853 円
施策体系	施策	19 生涯学習の推進	20歳という人生の節目を町全体で祝福するとともに、大人の一員であることへの自覚をより一層高めることを目標に「二十歳の集い」を開催する。	実行委員招集のためのチラシなど作成し回覧した。その結果、多くの応募があったため実行委員会にも余裕が生まれた。	事業実績	
	基本事業	01 学習意欲の高揚			参加者数・新成人数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	「二十歳の集い」に式典の名称を変更したため、運営方式を実行委員会形式に変更した。しかし実行委員が予想以上に集まらないため募集方法など検討が必要。	実行委員会発足から「二十歳の集い」式典終了後までの記録を作成し来年度以降の運営に活かしていく。	134・167	120・147
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	奄美大島青少年交流事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,470,130 円
施策体系	施策	19 生涯学習の推進	奄美市笠利町の児童とみなかみ町の児童が、夏・冬相互に各々の土地を訪れ、風土の違いを肌で実感しながら交流を図ることで、青少年の健全育成を図る。	学校を通じて全対象学年児童に募集をかけたところ定員を上回る応募があった。	事業実績	
	基本事業	02 学習機会の充実			応募者数/参加者の数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	参加児童の男女の比率、参加人数の調整が難しくなっている。	みなかみ町側は定員を上回る応募があったが、奄美側は男子が2人少なかった。年により応募数には波がある。みなかみ町側も定員より少ない年もあったことから、引き続き対象児童に広く募集をかける。	0/0	26/16
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	生涯学習講座事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	151,000 円
施策体系	施策	19 生涯学習の推進	住民のニーズに合わせて、あるいは社会情勢や町政、生涯学習分野の動向をふまえ、広く町民を対象に生涯学習講座を開催する。	社会教育に関わる町民によるみなかみ町生涯学習事業実行委員会を設立し、令和6年度から実際に稼働する予定。	事業実績	
	基本事業	02 学習機会の充実			講座回数・出席者数(延べ)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	生涯学習課には社会教育主事がないため生涯学習事業を専門的に推進する人材が不足している。	生涯学習事業実行委員会の意見を参考にしながら、少しずつ講座数、参加者数を増やしていく。	4・147	5・123
					単位	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	図書室運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,663,458 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。	事業実績	
	基本事業	02	学習機会の充実	令和5年度をもって中央、水上、新治、カルチャー4室共通の電算システムを稼働させることができた。	図書室利用者数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	図書室の充実を図る。4室共通の電算システムの導入により利便性を図る。	新システムの周知を広く行い、利用率を高める必要がある。	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	5
					6,423	8,775 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	中央公民館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,119,751 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員会を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。	事業実績	
	基本事業	02	学習機会の充実	老朽化した施設の改修は令和3年度に完了し、施設の安心安全な利用が確保された。また、エレベータの設置により高齢者や車椅子の方にも利用しやすい環境が整った。更に、資材や機材等の搬入が容易になり利用範囲が広がった。	公民館利用者数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。	公民館利用者は年齢層が幅広く、高齢者でも利用しやすい方法・システムを構築する必要がある。	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	2
					4867	6044 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	水上公民館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,361,264 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進を図る。	事業実績	
	基本事業	02	学習機会の充実	公民館及び体育館のトイレの和式便座を1器ずつ洋式化し利用者の利便性を向上させた。	公民館利用者数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	施設全体の老朽化が著しいため、利用者が安心・安全に利用できるよう、優先順位を決めて改修工事を進める必要がある。	施設改修のための予算を計画的に確保する必要がある。	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	2
					3318	6406 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000010	水上中部コミュニティセンター管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	239,833 円
施策体系	施策	19	生涯学習の推進	水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。	事業実績	
	基本事業	02	学習機会の充実	避難所としての機能のみならず、地域住民の親睦及び健康促進の場となるよう、施設の適正な管理運営に心がける。センター外階段の下に設置されていた古いフェンスの残骸を処分した。	利用回数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	施設は緊急避難場所になっているため、浄化槽や水道の管理等、万一の利用に備える必要がある。	地域住民の安全確保及び健康促進並びに生涯学習の推進を図るための適正な施設管理と安全な活用。	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3
					148	89 回

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000009		カルチャーセンター管理運営事業				① 専務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		28,486,100 円	
施策体系	施策	19	生涯学習の推進				センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、生涯学習の推進に取り組む。				改修工事に必要な設計業務委託費を補正予算で確保した。				事業実績				
	基本事業	02	学習機会の充実												施設の利用者数・施設の利用回数 (全施設利用団体の累計)				
組織名		生涯学習 課			施設管理 係			②専務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 4年度		令和 5年度	単位
事業期間	継続事業			会計	1	款	10	項	5	目	3	令和3年度策定の施設改修基本計画における既存不適格部分の早期改修。				改修工事のための予算を確保する必要がある。			
																13324		15929	人・回

施策マネジメントシート(2023年度の振り返り、総括)

作成日 2024 年 6 月 21 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち				
施策	20	生涯スポーツの推進	主管課	名称 課長 担当係	生涯学習課 丸山 浩文 生涯学習係、施設管理係	関係課
						

目的と基本方針	町民が生涯を通じてスポーツに親しむ ・町民の多様なニーズに応え、身近な地域で気軽にスポーツに親しむ環境の整備を進めるとともに、生涯スポーツに触れる機会を創出し、地域に根付いたスポーツの振興を図ります。 ・町民がスポーツに「関心や興味を持ち・気軽に取り組み・自主的に継続できるよう」段階を追った支援に努めます。 ・部活動の地域移行の担い手となる団体(スポーツ協会・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ等)の活動を支援します。 ・既存スポーツ施設の計画的な整備・改修、備品等の更新を進め、生涯スポーツの場の確保と利便性の向上に努めます。
---------	---

基本事業の考	・スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動に取り組むきっかけと、機会の提供を行う。 ・体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツや運動を行う場を提供する。 ・スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。 ・スポーツ推進計画を広く町民に周知し、町のスポーツに対する方向性を認識してもらう。 ・町のスポーツ関連団体のあり方を再度確認し、それぞれの特性を活かした団体の活性化・組織化を支援する。 ・上記全ての役割を、感染症対策に配慮して推進する。
--------	--

基本事業名	対象	意図	取り組み方針
1 スポーツ意欲の高揚	町民	スポーツへの意欲や関心が高まる。	スポーツに取り組む人を増やすため、地域が主体となるスポーツ活動の活性化に取り組みます。感染症に配慮した既知のスポーツの実施方法や新しいスポーツの紹介等、町民のスポーツ意欲の高揚につながる環境と機会の提供に努めます。
2 スポーツ機会の充実	町民	スポーツをする機会や環境を得られる。	幅広い年齢層の町民が生涯を通じて健康な生活を送るために、自分にあったスポーツを選択し継続して取り組める機会の充実に努めます。スポーツ推進委員やスポーツ協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブ等指導者の確保や育成を進め、スポーツ教室の担い手育成に努めます。スポーツ施設の維持管理に注力し、住民のニーズに応じた施設・整備の導入や有効活用を努めます。
3			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状 ・生涯スポーツは、健康づくりだけでなく住民同士の親睦や仲間づくりなどが目的になっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で集団スポーツが実施しにくい状況になっています。それに伴い、令和2年度まで増加していた週1回以上運動をする人の割合もいったん減少に転じていますが、令和4年度は50%まで回復しています。 ・児童生徒の減少に伴い、スポーツ少年団や学校部活動等生涯スポーツのきっかけとなる、少年期のスポーツへの取り組みが縮小しています。 ・スポーツ施設の老朽化が進み、維持管理に費用や労力を要する状況となっています。 ・講習会や教室は種類によって人気に偏りがあり、人集めに苦慮する場合があります。 2. 施策の課題 ・ウォーキングやバラスポーツ等を参考に、感染症に配慮したスポーツ振興策の考案と指導者要請が課題となっています。 ・スポーツ協会や少年団の活動を、競技スポーツに限らず広く支援することにより、新しいスポーツの形を創出するとともに、中学校の部活動受け入れ先としての組織づくりを図る必要があります。 ・老朽化の進む施設について計画的に予算を確保し、維持管理していく必要があります。 ・アプリなどを活用し、スポーツへ取り組む動機づけを検討していく必要があります。 3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する? ・新型コロナ感染症への配慮はいつまで必要か先の見えない状況の中、集団的なスポーツをどのように進めていくか更に慎重な判断が必要になっています。また、感染症に配慮可能なスポーツや、個別に実施できるスポーツの研究・紹介などが重要になると思われます。 ・感染症の取り扱い状況により、令和5年度からの新規スポーツ推進計画の推進と展開を図ります。 4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ・施設の維持管理修繕等の推進。 ・スポーツ教室などスポーツを行う場の提供、新規スポーツの提案。 ・トレーニング設備の充実、ウォーキング専用コースや多目的に利用できる公園の整備等。 ・大人の運動教室やヨガなど、健康推進部門との連携事業は人気が高い。 ・既存不適格施設の改善が望まれている。
-----------	--

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ・スポーツや運動に関心を持ち、教室やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ・スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、後継者を育成する。 ・町のスポーツ推進計画に関心を持ち、今後町の進むべき方向性を認識し、できることに協力・参加する。 2. 行政(町、県、国)の役割 ・スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動に取り組むきっかけと、機会の提供を行う。 ・スポーツ施設の整備と維持管理を適切に行い、スポーツや運動を行う場を提供する。 ・スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。 ・スポーツ推進計画を広く町民に周知し、町のスポーツに対する方向性を認識してもらう。 ・町のスポーツ関連団体に対し、それぞれの特性を活かした活性化や組織化を支援する。
---------------	--

施策	20	生涯スポーツの推進	主管課	名称	生涯学習課
				課長	丸山 浩文

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
					実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
A	週1回以上、スポーツをしている町民の割合	%			43.9	50.4	48.2				
						55.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
B	スポーツ協会加盟競技団体数/登録者数	団体/人			19/1, 233	19/1175	19/1161				
						20/1,250	19/1, 200	19/1, 200	19/1, 200	19/1, 200	19/1, 200
C					実績値						
					目標値						
D					実績値						
					目標値						

成果指標の達成状況	A	達成
	B	未達成
	C	
	D	

成果指標の増減の要因	A	前年度よりスポーツをしている町民の割合は、減少しているが目標値は達成している。以前していたが、現在はしていない人の割合が増えたり、取り組んできた回数の減少が大きいと思われる。
	B	団体数に変更はないが、登録者数は確実に減少している。町全体の人口が減少し新規に加入する人の母数が減っているのが大きいと思われる。
	C	
	D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
							実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
1	スポーツ意欲の高揚	A	スポーツ協会を含む地域スポーツ団体の数(公的・民間の別なく)	団体			1	1	2			
								2	2	2	3	3
		B	住民参加のスポーツ教室実施数	回			7	45	16			
									12	12	12	12
2	スポーツ機会の充実	A	スポーツ少年団の団数	団体			19	20	19			
								18	20	20	20	20
		B	スポーツ施設の利用者数	人			51,581	84,271	94,038			
								90,000	92,000	94,000	96,000	98,000
3		A					実績値					
							目標値					
		B					実績値					
							目標値					
4		A					実績値					
							目標値					
		B					実績値					
							目標値					

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	生涯学習フェスティバルでの軽スポーツ教室などを通して、取り組みやすいスポーツやニュースポーツの紹介をした。	スポーツ協会に加えMIINAKAMITOWN.EXEをカウントしたため2団体となった。スポーツ教室はカウントの基準を「住民向けの教委主管事業」と改めたことから、22年度を下回ったが目標値は上回ることができた。	コロナ禍により衰退していたスポーツ活動は、回復傾向にあるがスポーツ団体構成員の高齢化等により、活性化が困難な状況にあり、個人で取り組めるスポーツへの取組が必要である。スポーツ教室は参加者が固定される傾向がある。	引き続き、取り組みやすいスポーツや新しいジャンルのスポーツの紹介に注力し、スポーツ教室へ新たな参加者を取り込む。
	2	全国大会等に出場する選手への激励金等を増額した。また、アンケートで毎日運動する人の割合が落ちているので、天候にかかわらず利用できる体育館の、利便性の向上に努めた。	コロナ5類移行後、利用制限が緩和され利用者数は増加している。	施設等の予約・照会が、電話・窓口対応に限定されて利用しづらい。	施設等の利便性の向上と、適正な管理をすすめるため公共施設予約システムの導入を行う。
	3				
	4				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	寺間運動公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	499,927 円
施策体系	施策	20 生涯スポーツの推進	都市公園(H16年8月告示、運動公園)に係る維持管理事業である。指定管理者は、群馬スノーアライアンスである。	野球場にスプリンクラーを設置したことにより、快適に利用できるようになった。	事業実績	
	基本事業	02 スポーツ機会の充実			管理上の問題発生(対処)件数	
組織名	地域整備 課	都市計画 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 8 項 4 目 4	野球場等の施設が老朽化しており、修繕が必要である。	計画的な施設整備を検討する。	1	1
					単位	件

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	スポーツ協会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,255,000 円
施策体系	施策	20 生涯スポーツの推進	市民の体力の向上と親善・交流および社会体育の振興を図ることを目的としている任意団体の運営を事務局として支援する。スポーツ協会登録会員は登録競技団体・スポーツ少年団。	各競技大会開催の際に、コロナ対策を講じるなど新しい社会情勢にあわせた大会開催を指導した。	事業実績	
	基本事業	02 スポーツ機会の充実			協会主催・競技団体主催大会の事業数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	人口の減少により、特に団体競技の存続が厳しい。競技スポーツを普及する上でスポーツ協会の役割は大きく、協会の活性化は大変重要である。	コロナウイルス感染対策を講じたうえで活動をしていく。Web上で各競技部の情報を入手し、気軽に大会教室に参加できるシステムの構築。	69	69
					単位	事業

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	スポーツ推進委員会事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,567,489 円
施策体系	施策	20 生涯スポーツの推進	町におけるスポーツの推進を図るため、スポーツ推進委員を委嘱するとともに、事務局運営事務を行う。	コロナの影響を考えながら会議やイベントを新しい生活様式に沿った形で実施してきた。	事業実績	
	基本事業	01 スポーツ意欲の高揚			活動回数(会議回数)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	委員が主体的となり、積極的に活動できる体制整備を登えていく必要がある。	コロナの影響はほぼなくなりつつあり、段階的に軽スポーツ教室などスポーツイベントを展開していく。	10	10
					単位	回

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	スポーツ推進審議会運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円
施策体系	施策	20 生涯スポーツの推進	みなかみ町教育委員会の請願に応じて、スポーツの推進に関する様々な問題や課題などを調査・審議して、教育委員会に建議する組織を運営する。	なし	事業実績	
	基本事業	01 スポーツ意欲の高揚			会議の開催回数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	課題なし	なし	0	0
					単位	回

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	スポーツ少年団活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	479,500 円
施策体系	施策	20	生涯スポーツの推進	みなかみ町スポーツ少年団事務局業務また加盟する各スポーツ少年団の活動支援業務	事業実績	
	基本事業	02	スポーツ機会の充実		各スポーツ少年団参加児童数	
組織名			生涯学習 課	生涯学習 係	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	1
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	単位	
			会員数が減少傾向にある。	スタートコーチへの移行サポートをする。中学校統合により、スポーツ少年団の活動にも動きが予想されるので、しっかりとサポートをし、団員減少をくい止める。	431	420 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	スポーツ教室事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	139,118 円
施策体系	施策	20	生涯スポーツの推進	子育て健康課と共催し、「おとなの運動教室」(40～64歳対象)を実施	事業実績	
	基本事業	02	スポーツ機会の充実		スポーツ教室開催回数	
組織名			生涯学習 課	生涯学習 係	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	1
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	単位	
			働き盛りの年代を対象とし、身体不活動の減少とクオリティ・オブ・ライフの向上が課題。	教室参加申込をWebで行えるシステムの構築。気軽に参加できる環境を整備。	18	18 回

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	体育振興費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	909,665 円
施策体系	施策	20	生涯スポーツの推進	社会体育の振興を図る事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内で事業実施に要する経費の一部を補助金により交付する。	事業実績	
	基本事業	02	スポーツ機会の充実		申請(交付)件数	
組織名			生涯学習 課	生涯学習 係	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	1
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	単位	
			補助金申請数は横ばい状態。	地区・行政区等で補助金を活用してもらえるよう周知をしていく。	3	4 件

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	町民スポーツフェスティバル事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円
施策体系	施策	20	生涯スポーツの推進	町民相互の親睦と融和を深め、町民の体力向上と健康増進を図る為の町民スポーツフェスティバルを実施	事業実績	
	基本事業	02	スポーツ機会の充実		体育祭参加者数	
組織名			生涯学習 課	生涯学習 係	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	1
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	単位	
			従来の町民体育祭の代替事業としてスポーツフェスティバルを企画運営する必要がある。	町民体育祭に代わる新たなスポーツフェスティバルを実施していく。	0	0 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		プール開放事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,864,664 円			
施策体系	施策	20		生涯スポーツの推進				毎年、学校等の夏休み期間中に新治B・G海洋センタープール及び桃野小学校プールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。				B・G海洋センタープールではカヌー・SUP教室を実施した。				事業実績					
	基本事業	02		スポーツ機会の充実												利用者数・開放日数					
組織名		生涯学習 課			生涯学習 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 4年度			令和 5年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	2	沼田市民プール、B・G海洋センター、桃小プール開放事業の連携を図り、利用者の利便向上を図る。熱中症や新型コロナ等の防疫対策。				桃小プール更衣室が狭いためコロナウィルス感染症が収束しないと実施は難しい。				0	40	人・日

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000010		体育施設管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		18,268,696 F	
施策体系	施策	20		生涯スポーツの推進				緑地施設内運動広場ホッケー場、北部グラウンド、南部グラウンド、大中島運動公園(テニスコート・ゲートボール場)、名胡桃体育館、南部体育館、北部体育館、月夜野弓道場、大穴多目的広場、湯原多目的広場、新治武道場、入須川社会体育館、新治中央運動公園(野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート)、月夜野多目的広場等体育施設の管理運営を行う事業				予算の範囲内で緊急性を考慮し優先順位をつけて修繕を実施した。				事業実績			
	基本事業	02		スポーツ機会の充実												施設利用者数			
組織名		生涯学習 課		施設管理 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
								施設の老朽化が著しく修繕箇所が増加している。				維持管理のための予算を計画的に確保する必要がある。				令和 4年度		令和 5年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	2					52430		54605	人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000007		総合体育館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		5,017,972 円	
施策体系	施策	20		生涯スポーツの推進				みなかみ町月夜野地区の体育施設の拠点施設で、会計年度任用職員4名が日程調整をして施設の予約・貸出、料金の徴収、用具等の貸出業務を行う事業。				なし				事業実績			
	基本事業	02		スポーツ機会の充実												施設利用者数			
組織名		生涯学習 課		施設管理 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
								なし				なし				令和 4年度		令和 5年度	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	2					15622		19925		
																		人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000009		新治B&G海洋センター管理運営事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		3,238,442 円	
施策体系	施策	20	生涯スポーツの推進				新治B&G海洋センターと新治中央運動公園の拠点施設で、会計年度任用職員3名が日程調整をして施設の予約・貸出、料金の徴収、用具等の貸出業務を行う事業。		B&G指導員養成研修に職員が参加し資格を取得したが、他課に異動になった。		事業実績				
	基本事業	02	スポーツ機会の充実								施設利用者数				
組織名		生涯学習 課		施設管理 係				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
								B&G指導員の安定確保。 施設の老朽化が目立ってきている。		B&G指導員の資格を有する職員を配属し、財団事業に積極的に取り組み、特A評価を継続的に獲得することで大規模修繕を計画したい。		令和 4年度		令和 5年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	2	8168		8591	人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 6 年 5 月 17 日更新)																											
事務事業		000008		水上社会体育館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,801,712 円									
施策体系		施策		20		生涯スポーツの推進				水上社会体育館と水上公民館が併設する施設で、会計年度任用職員4名が日程調整をして施設の予約・貸出、料金の徴収、用具等の貸出業務を行う事業。				公民館及び体育館のトイレの和式便座を1器ずつ洋式化し利用者の利便性を向上させた。				事業実績									
		基本事業		02		スポーツ機会の充実												施設利用者数									
組織名				生涯学習 課				施設管理 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
																				令和 4年度		令和 5年度		単位			
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		6 目		2		施設の老朽化が目立ってきている。				施設改修のための予算を計画的に確保する必要がある。				8051		10917		人	

施策マネジメントシート(2023年度の振り返り、総括)

作成日 2024 年 1 月 15 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち					
施策	21	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課	関係課	
				課長	丸山 浩文		
				担当係	生涯学習係、施設管理係		
							

目的と基本方針	歴史文化への関心を高めるため、文化財を適切に保存・活用する					
	- 文化財が後世に継承されるよう、文化財の保護に努めます。 - 歴史文化への関心を高められるように、文化財の活用を努めます。 - 伝統芸能の後継者を育成しやすくするためには、保存団体を支援します。					

基本事業の考え方	- 文化財が適切に保存されるために、所有者・管理者による指定文化財管理を支援する。 - 人々が歴史文化への関心を高めるために、資料館および名胡桃城址の見学者数増加に努める。					
----------	---	--	--	--	--	--

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 文化財の保護	指定文化財	適切に保護される。	指定文化財管理状況調査の中で文化財管理(保護活動)に関わった人数を把握し、活動を支援します。
	2 文化財の活用	町民・観光客	歴史文化に触れ文化財が活用される。	歴史文化への意識を高めるために、資料館と名胡桃城址の展示内容を定期的に見直し見学者数を増やすなど、文化財の活用を積極的に進めます。
	3 文化財の保存	伝統芸能	記録される。	後継者が減少し存続の危機にある伝統芸能を中心に、映像として記録し後世に継承する。
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状	2. 施策の課題
	- 地域の伝統芸能に参加している町民の割合は減少傾向にあり、コロナ禍以外の要因として、伝統芸能を担っている住民の高齢化と人口減少、さらに関心の低さが考えられる。一部地域では、伝統芸能の存続自体が危惧されている。 - 指定文化財については、文化財指定を答申する文化財調査委員会において、「指定文化財を厳選し、現在指定されている文化財のさらなる管理活用に重点をおく」と方針が変更された。 - 地域で継承されている伝統芸能の中には、コロナ禍以降休止されている伝統芸能が非常に多くなっており、感染症対策を施せば実施できる行事も、積極的な再開にまで至らないという地域がある。	- 地域の伝統芸能への参加については、文化財だけでなく地域づくり・まちづくり・コミュニティ活動の要素もあり、広い視点から考える必要がある。 - 指定文化財については、文化財調査委員の意見をふまえて、数を増やすのではなく管理と活用内容を重視する必要がある。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する?	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	- 高齢化・人口減少に伴い、今後地域行事の一つである伝統芸能の参加者は減少していくと思われる。 - 指定文化財を増やすよりも、現在指定されている文化財のさらなる管理活用に重点が置かれるようになり、地域遺産制度を活用する場面が増加する。 - 高齢化・人口減少に伴い、今後存続できる伝統芸能は減少していくと思われる。	- 伝統芸能の継続について、その担い手である地域住民からは、続けていきたい気持ちはあるが実際には高齢化・人口減少のため難しい、というのが本音である。 - 文化財の保存と活用については、議会、住民から常に修繕や新たな指定などの要望がある。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	- 文化財所有者・管理者は、文化財が適切に保存・活用されるように日常から維持管理する。 - 文化財関連イベントに参加し、資料館や史跡、天然記念物を訪れる。 - 地域の伝統芸能(神社の祭り等)に積極的に参加する。観覧する。	- 文化財の状態を定期的に確認し、所有者・管理者が文化財を適切に保守管理できるよう支援する。 - 関係機関と連携し、現状の資料館展示だけでなく、文化財の活用方法を検討する。 - 地域の伝統芸能が継続できるよう支援する。

施策	21	文化財の保存と活用	主管課	名称 生涯学習課 課長 丸山 浩文
----	----	-----------	-----	----------------------

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R6)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	活用・公開されている指定文化財数(見学できる、または紙面・SNSに公開されている指定文化財数)	件	実績値 目標値	81 —	85 —	85 82	— 83	— 83	— 84	— 84
B	地域の歴史や伝統芸能に触れている人の割合		%	実績値 目標値	13.5 —	14.1 —	18.8 14.6	— 15.0	— 15.0	— 15.5	— 15.5
					— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
C				実績値 目標値	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
					— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
D				実績値 目標値	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
					— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

成果指標の達成状況	A	達成
	B	達成
	C	
	D	

成果指標の増減の要因	A	伝統文化(獅子舞、太々神楽等神社の祭り)などはコロナ禍の状況が良くなるにつれて再開する地域が増えてきている。
	B	伝統文化などが再開されコロナ前の水準まで回復しているが、参加者・見学者は限定的である地域が多く、祭典等の簡略化が進んでいる。
	C	
	D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	文化財の保護	A 文化財の保護活動者数	人	実績値	201	280	353				
			目標値		600	200	210	210	210	220		
			B		実績値							
			目標値									
	2	文化財の活用	A 文化財見学者数(月夜郷土歴史資料館・雲越家住宅資料館・猿ヶ京関所資料館・永井宿郷土館・名胡桃城址)	人	実績値	13,380	20,233	21,186				
			目標値		21,000	13,500	13,500	14,000	14,000	14,000		
			B		実績値							
			目標値									
	3	文化財の保存	A デジタルアーカイブ化された文化財の累積数	件	実績値	—	0	0				
目標値				—	1	2	3	4	5			
		B		実績値								
		目標値										
4		A		実績値								
		目標値										
		B		実績値								
		目標値										

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析		現状の課題		具体的な取り組み	
	1	指定文化財管理状況調査を行い、その中で文化財管理者の要望等を聞き取っている。また、県指定文化財(羽場日枝神社獅子舞、古馬牧人形)等についてはお祭り以外の発表会にも出られるよう積極的に支援した。	文化財保護活動者数は確実に回復し目標値に達している。神社のお祭りなどは完全に復活していないが、演目を省略するなど工夫して実施する所が増えている。		いまだ復活できていない獅子舞、神楽等伝統文化がある。コロナによる中断から完全な再開に導くためにはかなりのエネルギーが必要。加えて高齢化等により後継者が不足している。		県指定文化財の「古馬牧の人形浄瑠璃」、「羽場日枝神社の獅子舞」に加え、町指定文化財やそれ以外の無指定文化財等の活動についても積極的に支援していく。	
	2	月夜野郷土歴史資料館の管理については個人雇用ではなく、事業所(三成社)に開館業務を委託し、100%開館を実現した。	コロナ感染症の5類移行後、確実に見学者が増加し目標値に達している。この要因はコロナ後に城跡などを訪れる人が増えてきたことによるものと考えられる。		専属の学芸員はいないが、資料館の展示替えや企画展示を行う必要がある。		月夜野郷土歴史資料館では常設展の展示替えに加え、他の資料館から資料を借りるなどして企画展の開催を進める。	
	3	猿ヶ京関所資料館では過去に撮影した永井宿の伝統行事等の映像記録を放映した。	コロナ禍が完全に払拭されただけでなく、春祭りを再開していない神社が多くあり、撮影できない。		2~3年間にわたる行事中止という事態は伝統芸能を継承する地元の人たちにとっても影響が大きく、指導者も含めてとりまとめ役が減ってきてしまっている。		獅子舞、太々神楽等の伝統芸能を中心に映像記録を作成するよう心がけていく。	
	4							

21.文化財の保存と活用

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和6年6月21日作成		令和6年6月21日更新																									
事務事業		000005		文化財保護総務事業		① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		107,913 円									
施策体系	施策	21		文化財の保存と活用		文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。					文化財調査委員(6人)の協力を得ながら、指定文化財を中心に保護活動に努めている。					事業実績											
	基本事業	01		文化財の保護												資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数											
組織名		生涯学習 課			生涯学習 係			②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					令和 4年度			令和 5年度		単位				
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	5	目	4	人材不足のため職員の従事が社会教育事業に終始してしまい文化財にまで及ばない状況が続いている。					文化財調査委員をはじめ他市町村や県の協力を得ながら、文化財の保護に努めている。					469		521		人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 6 年 6 月 21 日更新)																																									
事務事業				000006		文化財啓発事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		118,253 円																					
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用				従来は文化財の保護が重視されていたが、近年は活用も含めた施策の展開が求められている。この啓発事業により観光資源としての活用を含めた啓発事業を行う。				名胡桃城址パンフレットを現地案内所および沼田公園観光窓口に配布した。				事業実績																								
	基本事業		02		文化財の活用												名胡桃城址来場者数																								
組織名				生涯学習 課				生涯学習 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																									
事業期間				継続事業				会計				1 款				10 項				5 目				4				活用に限っては、一過性ではなく恒常的な活用を進めることが求められる。				名胡桃城址については、比較の見学者が多く来る。この状態を保つために便宜施設の保全、パンフレットを配布に努める。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
																																18,407		19,481		人					

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和6年6月21日作成		(令和6年6月21日更新)																	
事務事業		000003		町指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		258,058 円	
施策体系	施策	21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				指定文化財管理自体は特筆すべき事業は行わなかったが、町指定文化財を多く展示している月夜野郷土歴史資料館において来館者を増やすため「若山牧水特別展示」を行い、実際に来場者は令和4年度から令和5年度にかけて269人から421人に増加した。				事業実績		月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)	
	基本事業	01		文化財の保護															
								②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
組織名				生涯学習 課				生涯学習 係				○令和5年度においては、町指定文化財所有者・管理者からは特筆すべき要望等はなかった。引き続き、所有者・管理者へ文化財保護の推進を周知していく。				令和 4年度 令和 5年度 単位			
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	5	目	4					269 421 人			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

令和 6 年 6 月 21 日作成		(令和 6 年 6 月 21 日更新)																			
事務事業		000002		県指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,376,044 円			
施策体系	施策	21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				猿ヶ京開所跡の老朽化については、茅葺き屋根専門職人に相談し、直すべき箇所を確認した。開所裏手の空き地については、地元からの要望に基づき道路との境目に景観にあわせた柵を設置した。				事業実績					
	基本事業	01		文化財の保護												主な文化財の見学者数(名胡桃城址)					
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		4		猿ヶ京開所跡の老朽化が目立つようになってきている。県指定史跡のため、県文化財保護課と協議しながら修繕を進めていく必要がある。				猿ヶ京開所跡については、茅葺き屋根の傷みが著しくなっている。毎年、少しずつ修繕を実施することにより、なるべく大規模改修しなくて済むようにする。			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	国指定文化財管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,299,533 円
施策体系	施策	21 文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、町内には8件の国指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	雲越家、戸部家については屋根葺きと打ち合わせ。	事業実績	
	基本事業	01 文化財の保護			主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	国指定文化財の老朽化が目立ち始めている。 ○雲越家住宅…茅葺き屋根、消防用設備 ○旧戸部家住宅…茅葺き屋根、消防用設備 ○矢瀬遺跡…遺跡復元施設(復元住居等) 特に雲越家と戸部家の茅葺き屋根の老朽化が目立つ。戸部家については大規模改修まで数年かかり、それまで維持するための養生工事(1,800千円)が必要。	旧戸部家住宅、雲越家住宅、矢瀬遺跡については、毎年少しずつ修繕を行うことにより、数千円以上の大規模改修をしなくて済むよう、計画的に修繕を行う。	200	100 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	埋蔵文化財調査事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円
施策体系	施策	21 文化財の保存と活用	埋蔵文化財包蔵地で開発が行われる場合に、事前に試掘調査を行う。	試掘調査の機会はなかった。	事業実績	
	基本事業	01 文化財の保護			埋蔵文化財包蔵地確認(照会)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備しておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。	今後も周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発事業(特に太陽光パネル関係)があることが考えられるため、常に調査研究を行い発掘調査に備える。	36	36 件

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,522,904 円
施策体系	施策	21 文化財の保存と活用	月夜野郷土歴史資料館の管理運営	○資料展示 展示内容を30%変更した。また、与謝野晶子紀行文学館から資料を借用して若山牧水特別展を開催した。	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	○展示関係 資料館としてのマンネリ化を防ぐため、定期的に展示替えを行うなどの工夫をする必要がある。	令和4年度から令和5年度にかけて来館者数は増加した。さらに来館者が増加するよう展示替え、特別展示等を実施していきたい。	269	421 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	77,370 円
施策体系	施策	21 文化財の保存と活用	水上歴史民俗資料館の管理運営	収蔵物、施設がこれ以上老朽化しないよう最低限の維持管理を行った。	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	施設はかなり老朽化している。安全管理上の理由で現在、休館状態にある。	収蔵物、施設がこれ以上老朽化しないよう最低限の維持管理を行う。	35	0 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	305,053 円
施策体系	施策	21 文化財の保存と活用	雲越家住宅資料館の管理運営	専門の屋根職人に相談して、修理すべき箇所を特定し経費見積もりを作成した。	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	老朽化、または主に積雪により茅葺き屋根の破損が目立つ。	国指定文化財であることから修繕・展示変更等が難しいが、ルールに基づいたうえで改修計画をつくる。	135	100 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	永井宿郷土館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	500,000 円
施策体系	施策	21 文化財の保存と活用	永井宿郷土館の管理運営を永井区に指定管理に出している。	なし	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	永井区から指定管理料の値上げを要望されている。	なし	394	391 人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	猿ヶ京関所資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,212,778 円
施策体系	施策	21 文化財の保存と活用	猿ヶ京関所資料館の管理運営	茅葺き屋根については専門業者に見てもらい、経費をおさえた修繕の計画をたてている。	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			入館者数	
組織名	生涯学習 課	施設管理 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 4年度	令和 5年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	茅葺き屋根、板戸、室内漆喰など施設の老朽化が目立つ。	県指定史跡であり様々な規制がある。ルールの中で適正な手続きにより修繕を行っていく。	463	693 人

5. 学識経験者の意見等

1. 学校教育関係 委員との質疑を意見として整理

【 学校教育の充実 】

■ 中学校が統合して2年経つが、統合して良かったことや悪かったことは何か。

(説明) みなかみ中学校の統合して良かった点は、小規模な小学校は子ども同士の交流が少なかったので、大きなクラスになり交流が増え、クラス替えができる事が大きな点になっていると感じる。学習に関しても、グループで交流ができたり、たくさんの考え方に接することができる事も今までにないことだと思う。また、部活動においても成果が出ており、今年度も卓球部が全国大会へ出場、剣道も個人で全国大会へ出場している。今まで参加出来なかった部活も、統合したことによって出来るようになった。

統合のアンケートは、令和4年(統合した次の年)に採った。受け止め方としては、統合して良かったという意見が圧倒的に多かった。実際に学校の活動を見学に行くと盛り上がりがあり、体育面はもちろん文化面でも活躍の度合いも増えている状況がある。

デメリットとしては、小規模だったからこそそのきめ細やかな指導がたくさんできていたと思われるが、1学級30人からになると難しくなる所もあると思っている。生徒指導面で、いろいろと人間関係のトラブルが起きたりするところも見受けられると感じた。生徒数が増えたことにより、1人1人を良く見て指導するには時間がかかり、先生方の負担が増えていると思う。

(意見) 今、主体的な学びや自分から学んだことをどうしていくか、そういう人間を育てていこうとか数字で表れない学力・姿があると思うが、交流が増えたり社会性が養われるようになったとか視野が広がったなど、学校の評価や子どもの意見として出てくると良いと思った。自分の経験から、小さい学校で中学校から高校へ行ったときに、中退してしまったり上手くいかないと聞いたことがある。環境が大きく変わったときに、どんな問題があるかしっかり押さえておくことが必要だと考える。これから、小学校の統合を控えているので、共通する部分や気をつける部分、踏まえて

おかなければならない部分が出てくるので、参考になるものを揃えておくことが大切かと思う。

デメリットの部分で、人間関係が複雑化するとあったが、むしろメリットと考えた方が良くと思う。いろんな子といろいろな接して、自分がどうしていくべきか考えさせることが、ひとつの学習だと捉えて良いと考える。

■ 学力向上について、各学校の教員の意識はどのようなのか。

(説明) 令和5年度欄に載っている数値は、令和6年4月実施のNRTの結果である。先生方の意識について、直接聞いてはいないが、指導主事訪問等で話をしている中で、一生懸命取り組んでいるように感じている。

学力向上の手立てとして指導主事訪問の回数をあげている。町で力を入れて欲しいことを学校で意識してもらうには、指導主事の訪問が1番の機会だということで実施している。

指導主事訪問でお願いしているのは、課題意識を持って取り組まないと子どもたちに身につかないので、探究型授業をしっかりとやること。補充・発展もかかさずやることを伝えている。また、検査の結果が出ると、町として分析し方針を出し、それを踏まえて、学校の分析と方針と学力向上の対策を作ってもらっている。学力検査の上位県は、課題意識をしっかりと持ち探究型授業がしっかりできている。町でも、子どもたちが課題意識を持って学習し、身につけていくことを大事にしている。町の目標指数は、NRTの偏差値平均が、小学校は51.0、中学校は52.0としている。それを意識して頑張ってもらいたいとお願いしている。

(意見) 学校のリーダーとなるような先生が良い授業をして、若い先生を育てるような意識があれば違ってくるかと思う。年度始めと年度終わりの2月頃にテストをすると、1年間やってきた成果が分かるし、先生方の意識の持ち方で成績を上げることが出来ると思う。まずは全国平均より下回らないこと。学力が低いのと高いのではイメージが違う。これから小学校の統合を控えているので、イメージとして平均が下がることは避けたい。

また、指導主事の学校訪問において、先生方にもっと強く言っても良いと思う。指導なのだから、最近は褒めることが多すぎる

ので、その逆でも良いように感じる。

■ ICTの活用を通して学力向上についてどのような効果があったのか。

(説明) 授業でいうと、授業支援ソフト“ウィンバード”が入っていて、子どもたちのタブレットの画面が、大型の電子黒板に一覧で表示が出来るようになっている。クラスの人数の意見が一斉に把握ができる。以前は模造紙に書き貼り出していたことが、電子黒板に映して一斉に確認ができたたり、交流のきっかけとなったり、そのような活用が良くされている。調べ学習で、すぐに調べられることがメリットだと思う。家庭では、ドリルソフトが入っているので、タブレットを持ち帰り家での宿題ができる。他には、どんな単元もできるので、得意な単元を伸ばすこともできるし、苦手な単元を克服するため繰り返し勉強することもできる。先生方は、一斉授業での使い方は長けているが、個別でどう対応していくのかは、これからの課題になると思っている。ICT活用促進委員会を立ち上げて、情報収集をしたり活用方法を共有したりして、委員さんが各学校に持ち帰り紹介をして、先生方の活用の力を上げていくようにしている。

(意見) ICTで子どもたちの意見などが共有できることは、他から認められることになり効果的だと感じる。自分の意見が周りに認められたり、伝えられたりするということは、非常に学習意欲が湧くことだと思う。教員の指導力の向上や児童生徒の学力向上にもなる。主体性が伸ばせるような活用方法を更に広めていければよいと思う。

■ 体力向上について、学力のように偏差値で表せないのか。また、体力向上プランがどの程度機能しているのか。

(説明) この指標の数字は、国が小学5年生と中学2年生の平均得点をそのまま出しているので、比較しやすいように、町もそれぞれの平均点をそのまま出している。比較が一目で分かるのも必要かと思うので、今後検討していく。

スクールバスの利用者増や部活動時間の減少による運動量減少に対する対策として、統合当初、全部の生徒が運動量の確保がで

きるよう学校へ提案を行った。令和４・５年度は、掃除の時間を利用してＡ班・Ｂ班に分け、掃除をする班とランニングをする班とし交互に実施した。しかし、あまり効果はなかったようだ。

体力向上プランについては、１学期に提出してもらい、年度末に各学校で評価し来年度の対策を書いて提出してもらっている。体力向上プランは機能されていると思うし、これがなかったら、もっと悪い結果になっていると思う。小学校は特に機能していて、全国の平均よりもかなり高い。

（意見）スポーツテストの結果は、小学生と中学生で基準が違ったり学年によっても違ってくるので、点数表示だと内容が分からない人はそのままを見るので、誤解されてしまわないかと思った。

要因のひとつとして、統合してスクールバスの利用者が多くなったことや部活動の時間が少なくなったことで体力が落ちたのなら、何かしらの対策をしなければいけないと思った。昭和村の例を挙げると、赤城原から１０kmの道のりを自転車や徒歩で通学していたときは、マラソン大会などで上位を占め結果が現れていた。今は、スクールバスになってしまって効果がなくなってしまった。

体力向上プランについては、そこで課題が出れば、それに対しての手立てなどを加え、検証しながら維持・向上していくことは意識してできると思う。また、学年が変われば数値も変わってくるだろうし、意識して運動量を確保するのとしなのでは違ってくる。

シートの書き方について、成果指標増減の要因欄Ｂの文中、授業や部活動以外の運動時間の減少とあるが、授業で体育をしているので、運動時間の減少は考えられないため授業と書く必要はないと思う。

■ 道徳が教科になって何が変わったか。保護者はどのように受け止めているか。

（説明）道徳が教科になって、考え議論する道徳授業が意識されている。自分ごととして考える、多面的・多角的に考えることに留意した授業に努めるようになった。それについて、保護者がどう感

じているか把握はしてなかった。

(意見) 少し心配したのは、今日騒がしている闇バイトなどは、皆若い子が関わっている。悪いことに手を染めないということをしっかり自分の心で分かる、そういう子どもを育てることが教員の役割だと思う。中学生くらいになると、良いことと悪いこと、先生が何を求めているのか分かってしまうので、道德の授業では良いことを言うだけで、そこで終わってしまう。どう行動するかを徹底させるところまでする必要がある。本気で自分を振り返ることができる授業を各学校に指導をしていただければ有り難い。

■ 教育環境の整備という観点で、藤原小学校の現在の児童数と今後どのような方向を考えているのか教えて欲しい。

(説明) 現在の児童数は、5名で、ここ数年5名で推移しており、旧中学校の校舎と小学校の校舎を併用して使っている状態である。水上小学校と一緒になった方がいいのではという意見もあるが、地域に根ざしている学校なので、学校としてできるものをサポートしている状態である。

(意見) 5名と聞くと、次の段階を考えた方が良くと思う。小学校として存続させることが適切かどうか検討すべきだと思う。

【 全体を通した意見等 】

■ 働き方改革により、先生方は時間的余裕ができるなど改善されているのか。

(説明) 勤務時間外在校等時間がよく管理されていて、月に1度、利根教育事務所へ報告している。規則に照らし合わせて管理職が指導をしている。以前よりは勤務時間外在校等時間は少なくなってきた。

小学校と中学校の教員では大きく違い、小学校は、勤務時間外在校等時間が45時間を超える人は本当に少ない。反対に中学校は、7割方45時間を超えている状態である。部活動や生徒指導で時間がかかる。ただ、中学校も数年前と比較すると、時間は減

っている。しかし、その効果は分かりづらい。

(意見) 教員の余裕ができて、授業が良くなるとか、子どもにどう関わっているか気になる。良い方向になったとか活気が出てきたとか、授業に集中するようになったなら良い。最終的に、子どもに返すように、子どものために考えられるようになれば非常に良い。やり甲斐を感じているときは、忙しくてもあまり関係なかったかと思う。子どもが伸びたとか、部活動で良い結果を残せたとか、子どもが良い顔をして取り組んでいる姿を見ればもっとやろうと思えたが、職場で先生方と意見が違うことや子どもと上手くいかないことがストレスになった。仕事のやり甲斐や良好な職員関係などに留意して学校経営をしてほしい。

2. 生涯学習関係 委員との質疑を意見として整理

【 生涯学習の推進 】 及び 【 文化財の保存と活用 】

■ 基本方針の中にニーズに合った学習機会の提供とあるが、具体的にはどのようなニーズがあり、どのような学習の提供ができたのか。また、月夜野郷土歴史資料館の管理運営はどのような委託内容か。

(説明) 生涯学習講座として、R4・5年度と星空観察会を実施したが、参加者が固定化して減っているような状況である。5年度は、生涯学習事業実行委員会の意見を参考にして、短歌の講座や歴史関係の講座を実施したところ、ある程度の参加者が増えた。それらについては、住民に合ったニーズが実施できたと考えている。

生涯学習事業実行委員会とは、文化協会の役員を中心に構成している。文化関係については、いろんな分野の知識とか広い識見のある人に意見を聞きながら、講座を組み立て企画立案ができるメリットはあったと思う。実際は、文化協会も高齢化になり人員や役員も減ってしまい、情報を収集するには少し乏しい人数になってしまっているかと感じている。今話が出ているのは、文化協会だけではなく、社会教育委員のメンバーに加わっていただけたらかなり視野が広がるかと考えているので、来年度から実施したいと思う。

また、資料館の委託については、資料館の管理をするだけで、解説などについてはお願いしていない。

(意見) 学習ニーズに応えるという視点も大事であるが、学習の成果を活用する視点から、学習の場を提供することを考えるのも大事だと思う。どういうことを学びたいかではなく、町の課題がどこにあり、生涯学習の推進で解決したいことを上手く講座にして人材を育てていくところも大事にしたほうが良いかと思う。

歴史資料館の委託の話を知りたかったのは、例えば、資料館の展示物について学習してもらい解説ができるような講座を立ち上げたら、学んだ人達に歴史資料館の委託・解説をしてもらえるのではないかと思う。同じことが図書館の司書にもあてはまり、課題としてあげられていることが解決されてくるのではないかと思

う。

■ 図書室利用者増加についての詳細の説明をお願いしたい。

(説明) 司書の交代で、選書の方法・方向性が少し変わったこと、利用者の希望を聞くようになったことなどがあると思う。図書システムの導入が完了し、図書館が利用しやすくなっているのが影響してきていることや、中央公民館にエレベーターが設置されたことによって、利用できる人も増えたと考えらる。

今年度の話であるが、各家庭に図書カードの作成についてのチラシを配布したので、後々には影響もでてくるかと思う。また、新治図書室の司書は、昨年までは平日居なかったが、今年度から常駐するようになったので、利用しやすくなっていることから利用者数が増加すればありがたい。

(意見) 毎年利用者が少なくなり厳しいとの話だったのが、増えたということは良いことである。物価も高くなっているし、読みたい本が、あると分かるシステムが有ることは非常に良いし、またそれがいろんな人に伝わればもっと良い。コロナも5類になり、生涯学習の講座も呼び込みやすくなってきたので、勝負の年かと思う。生涯学習の柱に欠かせないものであるから、是非中央公民館を中心として、誰でも足を運べるような体制作りをしてほしい。

■ 伝統文化や文化財全般をネット配信で紹介してみてもどうか。

(説明) 伝統芸能・文化財全般のネットによる影像のフル活用については、かなりの利点があると認識している。マネジメントシート中、文化財の保存欄に、デジタルアーカイブ化された文化財の累積数を目標に掲げている。現在、実績数は0であるが、実際には影像として撮ってある。10月から新規採用で担当が1人増えたので影像の編集を進めている。

事務局で考えているのは、資料館の中にボタンを押すと影像が流れるようなものを作ったり、町のホームページの文化財ページをクリックすると20～30秒ほどの影像が流れるようなものを考えている。藤原の獅子舞・羽場の獅子舞・太々神楽などいくつか撮ってあり、それらも合わせるとかなりできると考えている。

QRコードの話がでたが、今は、伝統芸能以外に町の史跡や重要文化財が

あちこちにあり、現地に説明板を設置してある。かなりの費用・維持費がかかるので、他市町村を参考にしたところその場にQRコードを置き影像や解説文がでるようなやり方もあったので、それを考えている。課内ではいろいろと話が出て夢を持っているが、実際には費用がかかることなので提案もできない状況がある。今後活用していけるよう考えていく。

（意見）説明文を読むと大変なので読まなくなるけれど、影像で見たり説明を耳で聞いたりできたらずっと理解が進み、伝わり方が違うと思う。現在、名胡桃城のYouTubeはあり、説明がなくて影像だけ流れるので少し分からない部分があるが、効果はあると思う。

【生涯スポーツの推進】

■ 週1回スポーツをしている町民の割合が、町のスポーツ推進計画では目標値が55%なのに対して総合計画の目標が46%に下げ、目標をクリアしているというのはどうなのか。なぜ、極端に下げてしまったのか説明をお願いしたい。

（説明）ホームページに掲載されているスポーツ推進計画は更新前の計画で、このシートは新しい計画に沿って作成した。このシートを作成する時点で参考にした数字が、2021年度の実績値43.9%であった。コロナ禍の影響もあり不安な状況にあったので、46.0%から年々1ポイントずつ上げていけたら良いかと考えた。生涯学習課の数値は、コロナ禍の令和3年度に作っていたが、前の年を勘案して数値を精査するべきであった。以前の段階が、40数%から51%位まで順々に上がってきたので、今回も5年かけてそこまで持っていく話になっていた。思いの外、コロナが5類になったところで、変わってきたというところもあり、整合性を欠いてしまった。

（意見）2021年度は、コロナ禍の時期で、その前の年を見ると51.0%を記録していたときがあるので、コロナが5類になり活動が増えるので55.0%を目指して良いかと思うし、町のホームページで目標値を55.0%と謳われているのに、46.0%に設定してしまうのは、拙いかなと思った。目標は、微妙に達成が可能なところに置くのが良いかと思う。令和4年は50.4%だから、55.0%という数字でも良いし、せめて53.0%位

にしても良いかと思う。今後も、町の施設がより多くの人に活用してもらえそうな手立てをしてほしい。

【 全体を通した意見等 】

■ 心豊かに生活できるように、個の学びが生かせるように、積極的な講座開設をお願いしたい。

（説明）本日、歴史資料館の委託・解説をしてもらえる方を育成するような講座の立ち上げ方等貴重なアドバイスをいただいたので、講座を開設するに当たってのポイントを良く考慮して講座開設を行いたい。

（意見）テレビ等で、移住の補助金を出し、推進しているような放映があり、そういった人達が移住してくる決め手として、子育てが非常に大きなポイントになると思う。みなかみ町は、どんどん人口が減ってきてしまうので、子育てがし易いとか手厚いなどのイメージを持てるような対策をお願いしたい。いろいろな手立てをしていろいろな人が集まり、活気づいていけば良いと思う。

教育委員会の点検・評価報告書
(令和5年度事業対象)

令和7年1月発行

編集・発行

みなかみ町教育委員会

〒379-1393

群馬県利根郡みなかみ町後閑318番地

TEL 0278-62-2275